



# 會工同窓会報

2017



## 校歌

嶺は秀づる磐梯山  
水は湛うる猪苗代  
これぞ乾坤秀靈の  
精気鍾り成る処

明治三十七春なかば  
礎堅くきずかれて  
星霜ここに幾かえり  
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け  
鶴を徽章に雄々しくも  
至誠勤勞一すじに  
進む健児の意気高し

時つ嶺は嶮しくも  
寄せ来る浪は高くとも  
これ奮闘の活舞台  
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬  
作曲 新潟師範学校



## 『同窓会報発刊にあたって』

同窓会 会長 藤田 晴史

(昭40年電気科卒)

同窓会会員の皆様におかれましては、御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、今回の同窓会総会において、会長に選任いただきました。任期中は新たな執行部のもと一丸となり会員皆様の御協力と御支援をいただき、同窓会規約に基づき、会員相互の信頼と絆を深め、親睦を図り、母校との連携のもとに同窓会と母校の隆盛に向け新たな執行部が一丸となり努力してまいりたいと考えますので、会員皆様の御指導、御鞭撻をいただきます様お願い申し上げます。

なお若狭春生前会長には顧問に就任していただき、引き続き御指導をいただく事になりました。

今年三月に、同窓会にとって非常に大きな悲しみがありました。永年に渡り同窓会長として、又顧問として多大な御貢献をいただきました偉大な大先輩の「吉田一榮氏」がご逝去されました。ここに皆様にお知らせすると共に心より哀悼の意を表します。

平成二十三年の東日本大震災により校舎の被害は少なかつたものの、耐震化の必要性があり、耐震化の工事が急がれておりましたが、本年当初に全て完了し安全な校舎に

なりました。学生には安心して勉学に励んでいただきたいと思えます。

近年、会津は豪雪や台風の被害は少なく安心しておりますが、全世界的に気象異状で、温暖化や線状降水帯の発生による極地的豪雨が思わぬ所で発生しております。会員の皆様には「備えあれば憂い無し」との考えのもと十分にお気をつけいただきたいと思えます。

最後になりますが、同窓生の皆様の益々の御活躍と御多幸を祈念してご挨拶させていただきます。

# 第110回同窓会総会



平成28年度、第110回会津工業高校同窓会総会は平成29年10月21日（土）「ホテルいづみや」に於いて58名の同総会員出席のもと開催されました。

開会に先立ち本年4月にご逝去されました同窓会本部顧問 吉田一榮氏（S20K卒）、さらには、この1年で亡くなられました全国の同窓生の皆様のご冥福を祈り黙とうをいたしました。

総会は、事業報告、会計決算報告につづき役員改選を含む全議案可決承認されました。

総会終了後、前近畿会工委会長・京都会津会会長 大竹文夫氏（S31C卒）による「先人の生き方に学ぶリーダーシップ」の演題で記念講演、記念写真撮影後、懇親会へと進み盛会に終了しました。

幹事長 木村洋一（S50K）

## ■役員改選

顧問	若狭 春生(S38K)	新任
会長	藤田 晴史(S40E)	新任
筆頭副会長	浅田 誠(S43E)	新任
副会長	田中 健一(S42E)	留任
〃	白井 武男(S45A)	留任
幹事長	木村 洋一(S50K)	留任
副幹事長	佐藤 義之(S42M)	留任
〃	荒川富士雄(S43M)	留任
〃	菊地 壽雄(S48D)	留任
〃	荒井 誠一(S49A)	留任



## ■報告事項

- 松江春次顕彰会会長 横山嘉夫氏(S26M)が退任 若狭春生氏(S38K)が就任
- 西会津支部 平成26年7月に解散
- 美修会 平成29年4月解散



会長 若狭春生氏あいさつ



議長 渡部昭寿氏



質疑の様子



校歌斉唱

平成29年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自平成28年10月1日～平成29年9月30日現在)

収入総額 5,675,884円  
 支出総額 3,696,270円  
 差引残額 1,979,614円

◎収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)増減	摘要
繰越金	2,301,700	2,301,700	0	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,410,000	10,000	新入生(239名×10,000円)+2名(未納分)
協力金	700,000	627,170	-72,830	会報協力金(サラトより)
総会費	500,000	317,000	-183,000	
雑収入	8,300	20,014	11,714	美修会寄付・決算利息等
合計	5,910,000	5,675,884	-234,116	

会工同窓会会計・積立金  
 監査報告について

平成29年 10月 6日 歳入簿・現金出納簿・預金通帳および  
 支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認  
 めましたので報告いたします。

平成29年10月21日

◎支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)増減	摘要
総会費	650,000	707,108	57,108	総会関係経費
会議費	650,000	633,607	-16,393	各支部総会時の御祝儀、役員会補助
旅費	550,000	518,770	-31,230	各支部総会時の旅費
事業費	750,000	639,286	-110,714	広告代、各支部への助成
卒業記念費	150,000	153,000	3,000	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化 振興会助成	100,000	100,000	0	
慶弔費	50,000	36,740	-13,260	香典、花環代
消耗品費	40,000	43,407	3,407	事務用品、その他
印刷費	400,000	401,760	1,760	会報印刷代(6000部)
通信費	190,000	193,154	3,154	郵送代、電話代
事務費	100,000	69,438	-30,562	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金(会津信金)
予備費	2,180,000	100,000	-2,080,000	入会金返金等(退学者10000×10名)
合計	5,910,000	3,696,270	-2,213,730	

監事  
 監事  
 監事

佐野常雄  
 小山源昭  
 栗城和夫

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 若狭 春生 殿

※収入総額5,675,884円－支出総額3,696,270円＝差引残額1,979,614円は次年度に繰り越し致します。

懇親会



懇親会の様子



エール



PTA副会長 坂内喜恵様あいさつ



開式のことば  
 東京会工学生会長 田中健一氏



学校長 二瓶賢一様あいさつ



松江顕彰会会長 横山嘉夫氏あいさつ



乾杯の発声 東海会工学生会長 三井正春氏

### 各支部への助成

東京	10万
近畿	5万
東海	5万
若松	5万
福島	3万
日立	2万
郡山	3万
猪苗代	3万
坂下	3万
いわき	3万
湯川	3万
会津美里	3万
建友会	2万
会工電友会	2万
機友会	2万
セラ友会	2万

### 平成30年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書(案)

(自平成28年10月1日～至平成29年9月30日)

収入総額	5,587,914円
支出総額	5,587,914円
差引残額	0円

#### ◎収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)増減	摘要
繰越金	1,979,614	2,301,700	-322,086	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生(240名×10,000円)
協力金	700,000	700,000	0	会報協力金
総会費	500,000	500,000	0	総会会費等の収入
雑収入	8,300	8,300	0	決算利息等
合計	5,587,914	5,910,000	-322,086	

#### ◎支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)増減	摘要
総会費	700,000	650,000	50,000	総会関係経費
会議費	670,000	650,000	20,000	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	550,000	550,000	0	各支部総会時の旅費
事業費	700,000	750,000	-50,000	広告代、各支部への助成
卒業記念費	160,000	150,000	10,000	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	40,000	50,000	-10,000	香典、花環代
消耗品費	50,000	40,000	10,000	事務用品、その他
印刷費	420,000	400,000	20,000	会報印刷代(6000部)
通信費	200,000	190,000	10,000	郵送料、電話代
事務費	80,000	100,000	-20,000	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	1,817,914	2,180,000	-362,086	
合計	5,587,914	5,910,000	-322,086	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

## 記念講演



記念講演をする大竹氏

演題 「先人の生き方に学ぶリーダーシップ」

講演者 近畿会工会前会長、京都会津会会長  
大竹 文夫氏 (S31C卒)

昭和12年8月 福島県下郷町に生れる。(満80歳)  
 昭和31年3月 福島県立会津工業高校 工業化学科卒業  
 昭和31年4月 (株)明治ゴム製造所 研究所に入所  
 昭和36年3月 東京経営経理専門学校卒業  
 昭和36年4月 (株)東京精密 経理部に入社  
 昭和56年1月 (株)オプトシステム設立 社長に就任  
 平成24年11月 社長を退任 会長に就任  
 平成27年3月 京都会津会会長に就任し現在に至る。

## 感謝状贈呈



顧問 若狭 春生様 (S38K卒)	前坂下会工会会長 五十嵐一夫様 (S43A卒)	前セラ友会会長 渡部 洋子様 (S32K卒)	前近畿会工会会長 大竹 文夫様 (S31C卒)	会長 藤田 晴史様 (S40E卒)
----------------------------	-------------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------------



## 同窓会長を辞して

福島県立会津工業高校同窓会 前会長 若狭 春生  
(昭38年窯業科卒)

去る10月21日の同窓会総会において同窓会長を辞任いたしました。平成23年1月手代木会長が逝去され、同年10月までの在任期間を会長代行として、そして平成24年10月20日学校創立110周年記念祝賀会及び同窓会総会が開催され、第18代同窓会長に選任され今日まで6年半皆様方の多大なるご支援とご協力により無事会長職を務めることが出来ました。心より感謝と御礼を申し上げます。

顧みますと平成23年3月11日の東日本大震災、財団法の改正により松江奨学会を解散して松江顕彰会を設立、平成24年母校より初めてのオリンピック選手(ロンドンオリンピック・ボクシングフライ級・平成15年C卒須佐勝明氏)の激励、同年10月創立110周年記念式典・祝賀会の開催、11月同窓会名簿の発刊、翌25年4月松江春次記念館建設実行委員会設立、9月いわき会工会設立、10月松江春次記念館落成式・祝賀会、27年同窓会ホームページ開設、10月会工祭に同窓会初参加(パネル展)、29年7月航空写真による校舎全景撮影(同窓会名簿に掲載)など、この間各種事業をすることが出来ましたのも同窓会役員の皆様のご協力と同窓生皆様のご理解とご支援があつてなしたものと深く感謝し、心より御礼を申し上げます。今後は新役員の皆様の後ろ盾となり同窓会発展のため協力をしてまいります。本当に永い間お世話になりました。



## 校長あいさつ 「会工の現状」

校長 二瓶 賢一

同窓会会員の皆様には日頃より母校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。また二月二十八日には、新たに二百三十五名の卒業生を新入会員として迎えていただき、ありがとうございました。

私は本校に着任しまして二年目となりますが、ますます本校が地域の方から大変期待されている学校であると感じています。特に商工業関係の要職にある方々に本校の卒業生が多数活躍されていたり、また多くの方から会津地域はもとより全国で活躍する人材育成の要請を受けました。この期待に応え、社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えます。

昨年度は、同窓会総会をはじめ東京会工会、東海会工会、近畿会工会、福島会工会、郡山会工会、猪苗代会工会、美里会工会、坂下会工会、いわき会工会、機友会、建友会、美修会、セラ友会、電友会等、多くの会工会からお招きいただきました。都合のつく限り参加させていただきました。その際には、それぞれの会の役員や出席者の方々には大変お世話になりました。懇親会では、卒業した年や学科を超え、多くの会員の方々が在学当時に思いを馳せ楽しく談笑されている姿が大変印象に残りました。

私が生徒に常々話していることの一つに「自分と自分の学校に誇りを持つこと」があります。会津工業高校の歴史を知ることも多くの先輩方の活躍を知ることが、現在在学する生徒にとって誇りとなることに通じると考えます。私は先輩方から、在学当時のことや現在の生徒に望むことなど、いろいろなお話を聞かせていただき、学校の活動・取り組みに活かしていきたいと考えております。

現在、生徒は大変落ち着いて学校生活を送っています。また学校全体に活気があり、資格取得・部活動・進路実現に生徒・保護者・教職員が一丸となって取り組んでいます。平成二十八年度の進路状況や部活動・各種競技大会の結果についても、大変健闘しました。生徒は先輩方から受け継がれた伝統を確実に継承し、発展させ実績をあげています。(詳細は別頁)

私の学校運営ビジョン、「生徒一人一人の輝かしい未来を応援します」「社会に貢献できる人材の育成」をスローガンにして、教職員一丸となって取り組んでいます。同窓会会員の皆様の支援に感謝を申し上げ、今後もよろしくお願い申し上げます。



昭和 35 年の校舎



現在の校舎

# 会工高の歴史のうち、本校創立以前の「徒弟学校」開校に向けて、 会津方部の自治体の当時の活動を「補完版6」に続いて新資料で 述べておきたい パート3

会工100年史編纂委員 江花光泰

T (D、S)、L (J、W)、K、C、M、  
E、Aは、私が入学した当時の襟章略記  
号であり七つあった。懐かしい方も多か  
ろう。

その後、その時代その時代の産業背景  
があるから学科、科名、略号、修養会名  
もかわる。染織科・繊維工業科T (染織  
部D、紡織部S) 白陽会、漆工科L (漆  
工部J、木工部W)・工芸科・インテリ  
ア科In 美修会、窯業科・セラミック科  
K 鶴窯会、応用化学科・工業化学科C、  
化学工学科 興鶴会、興化クラブ、セラ  
ミック化学G セラ友会、機械科M 機  
友会、精密機械科F 磐友会、電気通信  
科・電気科E 電友会、電子科D 電子  
会、建築科・建築インテリア科A、K、  
In 建友会、情報技術科J、It、Itクラ  
ブ、デザイン科デ、本郷分校K、自動車  
課程J、産業科電気工事課程S、溶接課

程Wと多くなり、日本有数のものと言え  
た。生徒たちの修養会もそれぞれに作ら  
れたし、卒業生も科毎の同窓会会合名称  
に使われたりもする。

先に紹介した明治28年の「会津五郡町  
村学校組合工業学校創立に関する事務管  
理の総理は北会津郡長において取り扱  
い、其、各郡に関する事務の管理は各郡  
長において取り扱われるべし」とした資料  
の中に陶器業、漆器業、染織業の各家数  
(製造戸数)、子弟の就学すべき数の調査  
がある。

窯業徒弟学校は北会津郡の川南村と大  
沼郡の本郷村、漆器徒弟学校は若松町と  
耶麻郡喜多方町、徒弟学校を設立するに  
あたりこの背景に依拠している。  
その内、染織関係では生糸、絹織物、

	陶器業		漆器業		染織業	
	家数	就学対象者	家数	就学対象者	家数	就学対象者
南会津郡	1		10		8	
北会津郡	60		369	74	34	7
耶麻郡			122	24	26	16
河沼郡			31			
大沼郡	64	32			10	2
合計	125	32	532	98	78	25

木綿織物、麻織物ともに一か年産高、同  
価格、一反又は一貫目価格が詳細に示さ  
れ、耶麻郡における「製糸会社に関する  
調べ」の一例では会社名と所在地があ  
り、元製糸会社(喜多方町)、元北辰社  
(喜多方町)、同支社(喜多方町)、元弘  
営社(喜多方町)、毛利野製糸社(喜多  
方町)、会津一昇館(塩川村)、一重製糸  
所(塩川村)、猪苗代工場(猪苗代村)、  
旭商社(山都村)、小林商社(山都村)、  
武田製糸所(加納村)、北方社(岩月村)、  
平田製糸所(堂島村)、川桁製糸所(長  
瀬村)の事業所名とそれぞれに資本金、  
職工人員、蒸気機関数、公称馬力、水力  
機関数、公称馬力が記載されている。

若松では林紡績が有名であったが、織  
維産業そのものも発展し、明治42年の工  
場労働数は他産業を圧倒し全体の過半数



繊維工業科の歴史碑

を超える。大正期、会津木綿の製織業者が増え、昭和初期には会津木綿同業者組合の事務所が、本校染色工場内に設置され、綿英ネルの製織がはかられるなど隣接の県立工業試験場会津分場（現格技場・会工会館周辺）に共同作業所が作られるなど地域と連携の中で実業教育が進んだ。

繊維産業関連の教育機関としては明治28年の私立若松機業伝習所から若松町会若松機業伝習所、32年若松染織伝習所、明治33年の蚕業講習所開設などに進みながら質的向上を図りつつあり、35年の工業学校開設に当たっては、染織科を柱として甲種（工業学校規定）、ちなみに漆工、窯業は漆器徒弟学校、窯業徒弟学校を乙種（徒弟学校規定）としてスタートした。順次全国的に発展・集約されて関東から関西にかけ大手紡績会社に、そして急速に大正・昭和期と海外での生産拠点へと集約特化して行ったため会津でも

繊維産業そのものが地域から離れていったのだ。

こういった事情は学校経営にも直接反映した。「会工」は出たのだが地元就職ができない・技術が生かせないといった矛盾が生まれた。

校門東側には繊維工業科閉科碑「白陽の礎」とデザイン科閉科碑「雄飛」（S56年）とが建立されているが、デザイン科は会津短期大学部情報デザイン科へと転身し、大きな羽ばたきを見せている。学科新設改廃を大ざっぱに分類してみると

- ① 明治37年創設の染織、漆工、窯業の3科が誕生。45年に至り学則改正し、漆工窯業も甲種昇格を決めた。
- ② 第二次大戦前後の昭和6年応用化学科、16年機械科、20年電気通信科、23年には建築科を若松工業学校（若商）から移管があり、基幹産業の学校教育が形作られた。
- ③ 日本経済の隆盛期、昭和36年電子工業科、電気工事課程、37年精密機械科、38年化学工業科、溶接課程の増設、この年科名変更どころもがえが多く、繊維工業科、工芸科、電子科、42年には専攻科デザイン科、45年車両整備課程の新設、東京オリピックもこのころである。
- ④ 昭和47年から56年にかけては科、

課程の改廃が続く、科名変更や統合が続き、平成3年には繊維工業科の閉科と情報技術科の新設になり現在に至っている。

同窓会組織「会工美術会」の解散についてふれておきたい。

今年4月22日、曾根会長のもとにインテリア科すぐ近くの会席料理「鈴乃紀」にて臨時総会を開き、解散を決めた。平成16年にインテリア科募集停止。建築科が科名変更し、建築インテリア科としたことから同窓組織の「建友会」「美術会」のどちらにくみするのが、話題になっていた。結論から言うと美術工芸作家の多い「美術会」より、産業背景の大きな建設業界とかかわる「建友会」が優位としたことから「美術会」には同窓後輩の増加が見込めずに解散とした。美術家集団「美術」として産声上がるか。



デザイン科閉科碑



白陽の礎



## 元同窓会長 吉田一榮氏を偲んで

吉田一榮氏は3月末より体調をくずされ入院加療されてましたが、4月3日に逝去されました。2月までは我々と共に酒席にお出でになり元気であられましたが、突然の悲報に同窓会役員一同悲しみと落胆で言葉もありませんでした。

吉田一榮氏は会津工業高校と同窓会にとって偉大な恩人であり、我々同窓会役員が師と仰ぎ、同窓会行事の企画・立案から運営まで大胆で綿密なご指導を頂き、率先して行動を示され、氏は係る会議や行事には必ず出席され、今思うと大黒柱が無くなってしまった様な気持ちです。

吉田一榮氏は昭和20年に窯業科を卒業され東京工業大学専門部に入学、昭和28年4月より2年間母校の窯業科で教職をお勤めになり、退職後は家業の吉田セメントの経営に就かれました。昭和48年母校のPTA会長に就任、55年まで7年間多くの実績を残され、54年に同窓会会津の会長に選ばれ、55年の同窓会にて同窓会会長に選出され、以後創立80・90・100周年の記念事業を実行委員長として多くの記念事業をなされ、その業績は下表「吉田一榮氏の33年の足跡」をご覧くださいと思います。

私達同窓会役員一同は偉大な吉田先輩の教えを忘れる事無く、会津工業高等学校と同窓会の発展を念じて今後も努力して行くことが吉田一榮氏の遺志とし、ご冥福を心からお祈り致します。

## 吉田一榮氏の33年間の足跡

母校に関する役職●同窓会元会長・現顧問/セラ友会名誉顧問/元松江奨学会理事長/前松江春次顕彰会会長/元PTA会長

昭和20年3月 会工窯業科(5年生)。柔道部でご活躍される。東京工業大学付属工業専門部に進学される。

昭和28年4月～30年3月 母校の窯業科で教職をお執りになる。「科史」では、当時を躍進時代と位置付けるほど窯業教育の発展に寄与され、工場経営に専心なされるため教職を辞される。

昭和48年 会工PTA会長に選任される。

昭和50年 体育文化振興会を設立。

昭和51年 総会に講演会を導入、PTA研修会をはじめめる。

昭和52年 学年PTAにも講演会導入。

昭和54年 会津会工総会で会長に選任される。(10月28日)

昭和55年 会工PTAを辞任。

全国理事会により会工同窓会会長に選任される。(4月22日)

昭和57年 母校の創立80周年記念事業実行委員長をつとめ多額の寄付。

11月2日 記念式典会工会館(柔剣道場)の竣工。校歌碑除幕。

昭和58年 松江奨学金の増額。「松江賞」授与。

平成元年12月 松江奨学会へ多額の寄付。

平成3年 同窓会会員名簿刊行。

平成4年 母校の創立90周年記念事業実行委員長をつとめ多額の寄付。

会工トレーニングセンター竣工資料会館を整備・修復。

11月 記念式典。

同窓生の美術展を開催。記念誌『時代への挑戦-時代からの挑戦』を刊行。

平成6年 図録『所蔵作品』等を出版。松江講堂の取り壊しと新体育館の建設。

平成7年 同窓会会員名簿刊行。

平成12年 セラ友会名誉顧問・記念講演会。

平成14年10月 母校の創立100周年記念事業実行委員長をつとめ多額の寄付。

同窓会会員名簿を刊行。同窓会館「鶴翔会館」竣工。

同上外壁にモニュメント作成。同窓生の美術展を開催。

「鶴翔会館」の門扉・駐車場竣工。門扉及び敷石寄贈。

創立100周年記念式典。

平成15年 会工同窓会会長を辞し顧問に就任。会工同窓会の発展を梅津正夫氏に託される。

(10月18日)

平成16年 記念事業沿革誌『会工百年史』を刊行。

平成17年 松江奨学会、サイパンより短期研修生を受け入れ。

平成18年 松江奨学会理事長として「松江賞」を復活される。

平成20年 同窓会賞の新設。

平成23年 松江春次顕彰会設立初代会長に就任。

平成26年 松江春次顕彰会会長退任。



創立80周年記念事業校歌碑設立



創立80周年事業で柔剣道部竣工



同窓会館「鶴翔会館」



創立90周年事業・会工トレーニングの建設



同窓会館開設テープカット



創立100周年記念式典



30年ぶりの松江賞授与(平成18年)



春次没60周年絵画・写真展セラ美術展

# 東京会工会 会の活性化に向けて

田中 健一  
(昭42E卒)

東京會工会は、関東一円に参加者が住んでおり、遠路だから参加出来ない。という方が多い。会員の年齢構成も昭和30年代卒が最も多く、次に昭和20年代、40年代、50年代と続く。平成の登録者は1名のみです。

当会の目標は、「会員相互の親睦を図ること」。会員同士が接する機会がなければ、親睦を図ることは出来ません。少しでもその機会をと、荒井前会長の提案で各地で催しをすることになったのです。現在は、上野精養軒での総会の他に千葉と御殿場でゴルフコンペ。千葉鎌ヶ谷での梨狩り。神奈川湘南台での芋煮会とぶどう狩りバーベキュー。今年から神田で囲碁将棋も始めました。



梨狩りの皆さん

芋煮会は神奈川県登戸駅近くの多摩川河畔で開催していたのですが、規制が厳



芋鍋の調理中



芋煮・天ぷらと会津の酒

しくなり、湘南台に移動。駅から遠くなったためか参加者は激減。囲碁将棋は初めてのことで数人の参加。茅ヶ崎海岸で開催していた地引き網は、船宿が廃業したことで3年ほどお休み状態です。一番人気があったので残念です。

このように各地域で催しを行い、参加しやすくしています。また、参加費も総会を除いて安い会費にしています。しかしながら、会員の高齢化とともに年々参加者が減少傾向にあります。そこで、会員以外の方々へのPR活動です。昭和40年代以降の同窓会の方に、年間250名ほど案内を発送しています。また、会津工業高等学校ホームページの同窓会欄に催し案内を掲載させて頂いております。成果のほうは、成功とまではいき

ませんが、ぼちぼち返信が届いています。中には会員登録をされる方もおります。

残念ですが、平成元年以降の卒業生は、現住所不明者が多く、案内発送が出来ない状況です。母校のホームページを見て、同窓会への関心が深まり、活動に参加して頂ければ、と願っているところです。

## 東海会工会 第二の人生スタートに向けて

五十嵐 強  
(昭48M卒)

昭和51年3月に愛知県刈谷市へ来て42年目になりました。機械科を卒業し地元のリズム時計に2年半勤務後今の仕事に。今年で63才になりますが65才迄はこの仕事をつづける予定です。60才で一区切り、今もフルタイムで働いていますが、以前に比べれば肩の荷も降り気分的にも

楽に仕事に取り組んでいます。昨年8月よりゴルフを本格的に取り組み今年の4月にはハンディキャップを初めて取得致しました。ゴルフを始めたのは25才でしたが、これまでは月に1回程度でしたが、昨年8月以降は月2〜3回は行くようになり、自宅でもほぼ毎日練習する習慣になりました。先日初めての月例競技会に参加し、自分としてはまずまずの成績で満足しております。良い時期に先輩よりゴルフを場の友の会にさそっていただき、感謝しております。

今はゴルフに熱中し目標を順次立てて、その目標を達成していきたいと思えます。



平成29年6月15日「東海会工会総会」名古屋西区味波にて

それと平日頭考えているのは、65才で今の仕事を辞め後の事があります。幸い私は健康面においてどこも悪いところは有りませんが、何ででもやれるという恵



# 文武両道



して、地元から世界企業として君臨することへの誇りを享受出来たことは、この上ない喜びでありました。更なる発展・成長への期待感を強くした一時でもありました。

見学後のクロージングミーティングでは、種々の質問をして理解を深めると同時に、他面的な取り組みとして患者さんや医療機関の先生方に対し、糖尿病・高尿酸血症・通風等に関する最新情報をインターネットや刊行物を使った情報提供活動にも取り組んでおられ、実際に「クイズ！プリン体の少ない食事はどっち？」を体験させて頂き、興味深い取り組みに感嘆したところでもありました。



2017年6月23日(金) 若松会工会研修会(三和化学研究所様玄関前)

退社の際には、20代の本校の同窓生も見送りに駆けつけて頂き、会社の粋な計らいに感謝すると同時に、企業内同窓会を結成して頂くことを無遠慮にもお願いしてしまいました。

その後、場所を「割烹・水林」に移し、種々情報交換をし、親睦を深める取り組みの一助にしたところでもあります。本事業は来以降も継続して取り組む考えでありますので、本会報一読の皆さんも、次回は万難を配して参加されますようご案内し、報告と致します。

## 郡山会工会 戦後郡山会工会設立と現状

幹事長 藤沼 嘉典  
(昭32卒)

郡山会工会設立趣旨を申し上げますと、戦前戦後の郡山会工会の実体は今となっては分かりませんが、戦後40年もたち復活の機運が高まり、昭和61年9月上旬準備に着手、会工同窓会及び母校よりの資料により279名をリストアップ電話及び職域会工会等により、市内事業所勤



務者162名を確認して入会の要請と総会通知を郵送し、その結果、入会者100名となり11月30日午後1時より駅前明石会館において63名の出席をもって総会を開催する。

右の文言は昭和62年4月19日料亭「松広」での第2回定期総会の会務報告の言葉です。

これが昭和61年戦後復活した郡山会工会の濫觴です。以来32年間東日本大震災の年をのぞいて定期総会を開催。会の運営に当って参りましたが、現今の個人情報問題などで卒業生の郡山地域への就職状況が分からず会員募集がままならず難渋して

おります又会員の高齢化と重なり震災以前は76名の会員数が震災以後に亡くなられた方が14名、退会者11名となり平成29年5月現在会員数は51名となっております。

### 震災以降に逝去された方の お名前

- 田代喜伊市 (S13 T)
- 小原 武 (S14 C)
- 田中 孝 (S15 L)
- 渡部 節夫 (S16 K)
- 滝沢 丑雄 (S17 M)
- 安田 久夫 (S18 M)
- 大竹 七郎 (S20 C)
- 須藤 忍 (S20 K)
- 鈴木長三郎 (S20 M)
- 島田 貞彦 (S24 C)
- 早山 賢 (S25 C)
- 新井田武男 (S27 E)
- 松崎 和朗 (S38 L)
- 風間 真一 (S45 L)

御冥福をお祈り致します。  
合掌

## 福島会工会

会長 二瓶 義人  
(昭39 E卒)

平成29年度の総会を9月22日、福島市内のホテルで開催しました。

総会には、本部より藤田筆頭副会長、木村幹事長出席を頂き、同窓会の現状等の話を頂き、木村幹事長からは進学、就職状況等の説明がされ、進歩状況で優秀な後輩が続々誕生している現状を知らされ先輩として喜びに対えます。益々の発展を期待しております。

恒例の近況の報告では「会員の日頃からの健康維持について」報告を頂き、ほとんどの会員が維持に関してそれぞれに健康に



# 質実剛健

# 至誠勤労

気を使つての活動されていることに、更に向上心が高まりました。

最後にメインイベントのアトラクションでは細野敏充会員(39E)のマジックショーで日頃の研鑽の成果を披露して頂き、見事な手捌きで前回とは違い玄人の腕前を披露に感銘を受け会を盛り上げてくれました。そして来年の楽しみみです。

和やかな時はあつという間に過ぎ、来年の再会を誓つてお開きとなりました。

今後の検討課題としては、現在同窓会員の名簿では約九十名ですが出席者は15〜6名というところまで。先輩後輩の差はあつても同窓生として親交を深めることができるように今後、多くの出席いただく為の案内の検討が必要と考えております。

## 坂下会工会の近況

会長 五十嵐 一夫  
(昭43A卒)

当会は昭和54年に設立され、あと2年で40周年を迎えます。40周年は盛大な総会にしたいものです。1年間の活動を紹介し



同窓会の総会は例年9月です。昨年も今年も9月1日に開催しました。総会では報告・事業計画の審議、時節の講演、そして懇親会の三本立てで実施しています。友好3校同窓会の会津高校と若松商業の地元同窓会、会津農林高校・坂下高校の同窓会も招待しています。また坂下町長はじめ本会同窓会、学校より校長と職員、坂下地区PTAの会長、湯川・柳津の同窓会もご来賓として迎え、会員相互の親睦を図っています。

年間活動としては、5年連続

で同窓生でもある、箱根駅伝の駒沢大学の八木監督を町のマラソン大会への招聘に飯塚裕君・五十嵐克博君・北島義喜君・小林雅博君らの同級生にご尽力いただき、町マラソン大会の隆盛に貢献しました。同窓会の功績として語り継がれることでしょう。

坂下地区の同窓会対抗ゴルフ大会には提案校として多くの会員が参加しています。今年7月に開催、大堀順一前会長・佐藤悦朗副会長のお二人、参加者中高齢1、2番で毎回元気に参加しています。昨年は優勝しましたが今年は一歩でした。

地区PTAへの総会と懇談会にご招待を受けるときには積極的に出席をしています。坂下町からの入学生が少子化でなくなり、将来の同窓会活動への影響を危惧しています。

また「シユガーキング松江春次翁」のお孫様の佐伯圭一郎氏、伊佐子様とも親交が続いております。学校100周年の時にサイパンを訪問し、松江春次翁の銅像に表敬、サイパンの知事に訪問した際は、佐伯様より案内・歓待を受け、今まで親交が続いています。これも坂下同

窓会活動の貴重な財産です。今年3月には、大堀順一前会長・梨子本傑幹事が、町の松江春次翁など歴史講座で講演し、同窓生の誇りを示すなど活躍いただいています。

坂下会工会の新聞記事が良く掲載されると話題になります。竹村福雄副会長と梨子本さんの素早い働きかけです、これも同窓会を支える大きな力です。今年度は何か目新しいアクションを起し、会員がいろんなジャンルで同窓会に参加の機会を創りたいと考えています。

## 猪苗代会工会 若商同窓会猪苗代支部 総会懇親会に出席

会長 山口 一男  
(昭37A卒)

去る6月25日(日)猪苗代リゾートホテルに於いて、県立若松商業高等学校同窓会猪苗代支部総会の懇親会に出席しました。

若商同窓会猪苗代支部は、一昨年に発足したばかりとの事。昨年ご案内を頂きましたが、ライオンズクラブの国際大会に参加のため出席できませんでした。



平成29年度総会資料を拝見しますと、年会費収入156名分計上されており、新入生へ記念品贈呈、県高校駅伝大会応援、そば祭り協力、献血活動、十三日市(初市)協力と他に類を見ない活動には驚きました。懇親会の席上では、女性の参加が多く服装も映え、猪苗代会工会の活動とは雲泥の差があり統べる能力のない会長として責任を感じています。猪苗代町から来賓として県議会議員小樽山善継氏、会津高校、会津工業高校、会津女子・葵高校各々の同窓会猪苗代支部長・会長、猪苗代高校同窓会々長の面々が一同に会しました。同窓会は勿論、地域の会活動は動もすれば足りない面が

多く感じられます。  
猪苗代会工会は、人心を一新して更なる発展を願っています。

## 会津美里会工会

昨今

栗木 俊昭  
(昭45D卒)

今年の2月に同窓会本部より若狭会長、木村幹事長及び学校側より二瓶校長先生を来賓に迎え、定期総会を開催しました。毎年大体同じ会員の出席ではありますが、近況を語り親睦を図りました。

今回は、総会終了後に特別講演として教師生活新任校が会津工業高校で、後に福島県教育委員会教育長を務められた杉原陸夫先生をゲストに招き、当時の教員生活の数々のエピソードを伺い共鳴し、良き昭和を懐かしみました。先生の今後のご活躍とご健康をお祈りいたします。さて、今年7月に105歳で逝去された日野原重明医師は生涯現役を通し、医療は勿論文化、教育等様々な分野でご活躍され特に子供に命の大切さを教え「命とは時間であり、その時間を大切に、他の人のために使いなさい」と説かれました。私

達は毎日を時の流れに任せ命の終わりがつまりタイムアップを待っているのだろうか。師の教えを元に残された時間を人様の為に使いたいと思う今日であります。政界ではお友達政治、付度等馴れ合い政治が続く、一生懸命頑張る者が報われない世の中に成らないように注視してゆきたいと思う昨今です。

## 建友会

近況報告

会長 白井 武男  
(昭45A卒)

昨年の総会で役員改選が行われ、会長(世話人)を仰せ付かった22回卒の白井です。新役員と一年間、会の運営に携わって初めて建友会の諸先輩方のご苦労と、会員の皆様方の情熱が活力ある建友会を生み出している事を実感し、役員一同、身が引き締る思いで頑張っております。今後とも変わらぬご指導、ご協力をお願いいたします。さて、平成29年6月23日東山温泉御宿東鳳に於いて第56回建友会総会・懇親会が開催されま



した。懇親会には、二瓶学校長、室井市長始め小態代議士、菅家代議士、若狭同窓会長、恩師の管家先生、各修養会会長と多くの来賓の皆様をお招きし、さらに、いつも当会を支援して頂いておる賛助会の皆様と多くの会員のご出席を頂き、総勢133名での開催となりました。役員一同厚く御礼申し上げます。来賓のご挨拶の中に、「同窓会等は、一般的にはご年配の方が多いのですが、建友会はいつも若い人の出席が多く大変活力が在り魅力的だ。」等の称賛を頂きました。第1回卒の88歳の先輩から今年の春卒業の第69回卒まで、年齢差70歳の若男女の建友会会員が、それぞれの時代背景の中で過ごした高校生活の思い出や、近況等を語り合う、大変楽しく、

大変活気のある集いと成りました。

また、お元気で毎回ご出席の第1回卒の太田先輩、竹島先輩が88歳米寿の年に当たる事から、建友会からささやかですが記念品と、「来年もお元気でご出席を〜」の熱い想いをのせて、お祝い致しました。今後、定例化とする事と成りましたので、是非とも来年度は第2回卒の先輩方々ですので、建友会の総会に合せて、ぜひ、思い出深い会津の地での米寿祝いの企画をして頂ければ幸いです。会場の手配等何でも申し付け下さればお手伝い致します。

さらに、懇親会場で先輩方々から、建友会の事業として会員の書・絵・写真等の企画展示会を行いたいとのご要望がございましたので、来年度の総会に合わせて行う事で検討したいと思っております。

最後に、総会で申し上げた様に、来年度の総会には第1回卒から70回卒までパーフェクトに参加頂きたく、各回卒の担当幹事が頑張っておりますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

## 会工電友会

事務局長 白井 達夫  
(昭43E卒)

会工電友会は平成7年(1995年)6月に設立総会が開催され、今秋23回目の定例総会を迎えます。設立当時の先輩の計画が契機で、同年9月には東山温泉で会工電気科50周年記念式典が盛大に開催されたそうです(式典の参加者名簿は見当たらないが、記念写真には170名以上が写っているとの事です)。以下、生まれて20歳を過ぎた会の年間の恒例行事を紹介致します。

### ☆定例総会

定例総会は、毎年10月の第3金曜日に開催。この日時設定は、遠方から足を運ばれる会員が同月第3土曜日開催の本部同窓会総会に参加し易いよう考慮したもので、各学年での同窓会もこの時期に併せて実施しているケースも見受けられます。総会は、議事後の後に①電気科の近況報告②主に就職・進学等の進路状況の報告を受け、先輩の前途洋々を祈りながら半世紀前の就活を思い出しています。③記念講演会④ここ数年は、健康維持に関するテーマで実施。明日

# 初志貫徹

# 一意専心



の我が身を案じ、真剣に聴講しています。③懇親会がメインイベント。同窓会長をはじめ校長先生や各修養会の代表者をお招きし、例年約40名で盛大に開催。応援歌を声高らかに歌い上げ青春の熱い血を呼び起こしています(意気盛んですが、酒量は徐々に減少傾向)。

☆会報発行と卒業生への記念品贈呈  
会報「電友会だより」を2月末に発行。各種活動紹介や会員の近況報告などに加え、毎年、電気科の主任・卒業生担任・在校生から寄稿頂いており、発行時には教職員・在校生に提供しています。更に、同窓会入会式当日には卒業生への記念品(最近卓上電波時計)贈呈を実施

☆史跡探訪  
農作業などが一段落する五月下旬ころ開催。会津管内の名所旧跡巡り会津に対する思いを強くしています。講師は、昭30卒の大川原史郎さんで、何時も詳細な資料と説明で感激しています。近年のテーマは(平27)「高僧徳一ゆかりの寺を訪ねる」。(平28)「河東地区の文化財を訪ねる」。今年は、6月に「会津美里町を巡る」を実施。

☆施設見学会  
毎年8月下旬に納涼祭を兼ねて実施。最近は多種多様な施設を訪れています。近年の見学先は(平27)「会津若松ウインドファーム(東山風力発電所)」と「富士通会津若松野菜工場」。



ランドセルの羅羅屋会津若松工場研修

◎会員募集  
7月末現在の会員数は118名。平均年齢は約74歳。本部同窓会や各修養会と同様に、高齢化に伴い会員が減少しており、新規会員を拡大することが課題です。電気科卒業生はぜひ入会して下さい！  
更に、「電子科」卒業の皆様、入会大歓迎です！ご一報お待ちしております。ちしてあります。

◎事務局  
白井 達夫(昭43E)  
☎090-3753-5718  
◎会員募集担当  
菊地 進(昭47E)  
☎080-5551-9941

◎定期総会開催  
平成29年7月15日、会津若松市のホテルいづみで開き、設立18周年の節目を祝った。約43人が出席し、校歌を斉唱し、渡部会長があいさつ。本部同窓会への支援・協力や研修会並びに在校生の支援、会報発行など今

## 機友会

事務局長 森田 哲郎 (昭55M卒)

機械科・精密機械科の卒業した同窓生で構成し運営をしている「機友会」の総会は、7月1日午後5時から日本料理「生粋」



で開催されました。幹事長菊地登貴雄氏を進行役として、佐藤義之副会長の開会の言葉に続き、栗城和夫会長が「会員の1年間の活動に感謝の意を述べ、今後も会員増員を図って行こう」とあいさつをしました。

次に事業・会計報告がなされ承認され、続いて29年度事業計画等が審議され承認されました。今年役員の変更があり、新副会長に横川牧雄氏選任がされました。また、新たに吉岡和也氏が常任幹事に選任されました。懇親会では、高橋進一教頭先生・若狭春夫同窓会長のあいさ

## セラ友会

設立18周年・事業報告

梨子本 傑 (昭41K卒)

●会報2017発行  
平成29年6月に発行。部数400部。渡部会長をはじめ昨年度の活動内容、会員らの寄稿。また、同校セラミック化学科の活動などを掲載。さらに4月に逝去された「名誉顧問を偲んで」としての記事を特集として盛りこみました。

年度事業計画を決めた。更に今年度は任期満了に伴う役員改選で新会長に二瓶正人氏（昭和37年卒）を選んだ。懇親会には二瓶賢一学校長、本部同窓会より若狭春生会長、会津本郷焼事業協同組合・弓田修司理事長、各修養会長をお招きし総勢43人の祝賀会になり盛大に行いました。

総会に先立ち歴史講座を開いた。徳島県鳴門市でベートーベンの交響曲第九・日本初演に貢献し、若松市長を務めた松江豊寿と、弟で同校機械科設立に尽力した春次兄弟の足跡を振り返る動画を上映。二人の生い立ちや功績などを梨子本傑事務局長が解説した。



H29.7.15 セラ総会

この講演に、東京から駆け付けた春次の孫・松宮伊佐子様ご夫妻が、「人の気持ちを大切にする兄弟だった」などと語った。会津第九の会4名も出席していただき盛り上げていただきました。

●研修会

○秋のミニ研修

平成28年11月に10名が参加。見学場所は猪苗代・本宮方面の名所旧跡を周り、紅葉の見ごろを満喫し、有意義な1日を過ごした。



秋のミニ研修会 喜多方岩月登窯見学

○春のミニ研修

4月21日に開催し、13名でまず母校を訪れ、二瓶賢一校長の案内で吉田一榮元同窓会会長の銅像、同窓会館「鶴翔会館」、東京会工会寄贈の記念樹「会工

桜」を見学した。更に市内の名所の桜や下郷地内の塔のへつり、やきもの工房「泰山窯」を見学し研修をしました。

●役員会・新年会

平成29年2月8日、会津若松市のホテルいづみやにて役員会を開催。終了後新年会を開き、会員が交流を深めた。14名が出席。今年の事業として総会や入会式、研修会の開催、会報の発行、組織充実・役員改選の件などに取り組むことを確認した。

今回の講演会は、東京県人会で松江春次の孫・松宮伊佐子氏講演会に出席した梨子本事務局長が出席した報告に伴い、松江豊寿・春次兄弟の足跡と題した動画を放映することを確認。出席者が1年の抱負などを語り合いながら活躍を誓った。

●入学式

入学式は平成29年2月28日(金)に母校のセラミック化学科の教室にて行いました。同科は窯業科からセラミック科への名称変更を経て6年前から現在の科名になった。セラミック化学科として46回目の卒業生となった。卒業生37名が入会した。渡部会長が歓迎のあいさつを述べ、

新入会員代表の梶内雄介君に会長賞、全員に記念品を贈った。

晴れの表彰  
【セラ友会会長賞】  
受賞者 梶内雄介



卒業生と役員・科職員のみなさんと記念撮影

とを主目的としています。会員数は昨年より5名増え73名在籍しています。今年も平成29年度の卒業生を新たに会員として迎えることができました。

毎年春に総会、秋に芋煮会を開催しています。今年の総会では、新入会員を指揮者に母校の校歌や頑張れ応援歌を唱和して、会工卒業生の更なる飛躍を誓いました。

以上

三  
菱  
製  
鋼  
株  
会  
工  
会

会長 珊瑚 優治  
(昭59C卒)

皆様こんにちは。いつもお世話になっております。

この会は、三菱製鋼の広田製作所を中心に会工を卒業したOBで構成された会です。

今年度初めに、前会長の大竹氏が他界され急遽会長変更があり、また、昨年度総会にて会への参加を義務化から自由参加とし、再度会への希望者を確認し、再結成することになりました。

今後は、今までの良い点は継続し、退会されたかたから、不満のあった事項についてはみん

昭  
和  
電  
工  
株  
東  
長  
原  
会  
工  
会

支部長 大塚裕一郎  
(平3C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

会工同窓会東長原支部は、昭和電工(株)東長原事業所の敷地内に立地する企業5社で働く会津工業高校の卒業生で組織されており、会員相互の親睦を図るこ

威  
風  
堂  
々

# 温故知新

な意見を聞き変更し、より良い会にしていきたいと考えています。

皆様方におかれましても、古き良き習わしは残し、未来に向けて改善すべきことは変更し、お互い発展していける様、努力していきましょう。

## 三菱伸銅(株) 鶴友会

幹事長 岡村 勉  
(昭64M卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

我々、三菱伸銅株式会社若松製作所の会津工業高校OB会「鶴友会(かくゆうかい)」の近況をご報告いたします。

現在、鶴友会には109名の精鋭が在籍しております。ここ数年は新入会員が途絶えておりましたが、今年度は待望の新会員(新入社員)が1名増員しました。

鶴友会の恒例行事として5月の花見行事にあわせ新入会員歓迎会を開催しております。参加人数は総勢25名と小規模ではありますが、会合での盛り上がりには不可欠なものは何と

も鶴友会名物、締め「頑張り応援歌」です。この瞬間は当時の時代にタイムスリップしたかのように名物団長のもと大声で、且つ拳を突き上げた振付で全員一丸となり歌い上げます。

こうして大盛況のもと新入歓迎会を終えることが出来ました。次回の会合は年末に温泉宿1泊の総会が控えております。その時も会場には「頑張り応援歌」が鳴り響くことでしょう。皆様も機会があれば同窓生と一緒に拳を突き上げ歌ってみてはいかがでしょうか?



## OB会

### 旧職員OB いのしし会

毎年4〜5回研修旅行、食事会等を開催しています。今年も古希祝いと出版慰労会を兼ねて5月31日に石川町にある八幡屋にて実施し、懇親を深めました。



平成29年5月31日 開催場所：八幡屋

### 機械科職員OB会 七夕会

毎年7月7日に開催しています。今回は10名の参加で行ないました。



平成29年7月7日 ひょうたん寿司

## 会工元気会

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、毎年10月中旬に開催しています。今年は10月19日に会津若松市内の迎賓館「寿し万」にて、第20回記念総会を約45名の出席のもと開催されました。本田毅会長のあいさつ後議事に入り、会計報告・役員改選を了りました。総会終了後懇親会の席上、新会員5名の紹介がなされ、母校



2017.10.19

## クラス会

### 昭和40年度窯業科 卒クラス会 古希を祝う会

片岡 和夫  
(昭41K卒)  
還暦後、毎年開催しています。今回は古希祝いを兼ねて開催し

からは来賓として学校長・二瓶賢一様に出席していただき、和やかな雰囲気のもとおこなわれました。

ました。



於：八角神社にて

### 昭和58年機械科 2組卒業同級会

幹事 中村 浩  
(昭58M卒)



3年ぶりに東山温泉御宿東鳳においてクラス会を行いました。約30年ぶりに再会した級友もおり、時間を忘れて思い出を語り合いました。恩師新國先生、実習岩田先生にも時間を調整して出席していただきました。数年後のクラス会の開催での再会を約束して皆さん帰路につきました。

## 寄稿

### 人の縁と 優しさに触れて

会津若松警察署長 渡部 敏久  
(昭51M卒)



現世代の誰も  
が経験したこと  
のない、あの未  
曽有の東日本大

震災・原発事故直後の沿岸前線で勤務し、今、41年ぶりに青春時代を過ごしたここ会津の地で復興発展のため治安対策に従事しています。まず感謝したいのは、着任してすぐに若狭会長はじめ同窓会役員の皆様は暖かく迎えていただいたこと、そして、

あらゆる場面で同窓生の諸兄から暖かい激励の声をいただけたことです。本校で学んだ知識技術とは全く異なる進路を紆余曲折しながら進み、現役集大成の年を現在の立場でこの地の守りに従事できますことに不思議な縁を感じています。今、人の縁、人の優しさに感謝するのとともに、気持ち新たに、攻めの姿勢でここ会津の発展を支えるべく治安を守っています。なお、現在、福島県警察には60名程の同窓生が現役で県内各警察署等で頑張っています。同窓生の皆さん、是非、縁があれば声をかけていただき、同窓の絆を深めていただければ幸いです。

憲法記念日、70年前の昭和22年、新制中学の第1期生として若松3中に入学、当時校舎はなくて会津工業に間借り、担任の先生は電気科の菊地巖先生であった。新憲法についての授業では、主権在民とか、戦争の放棄、言論の自由等など耳新しく、軍国少年の教育を受けていた身には、とても新鮮なものであった。中学の3年間は会津女子校、若松女子校と間借り生活で自前の校舎のないまま卒業。会津工業電気科に入学し、また菊地先生に教わる。卒業の日先生に呼ばれ、お前とは長い付き合いだったなあ、といわれたのが今でも耳に残っている。何しろ6年間だから。

### 日々雑感

大川原昌之  
(昭28E卒)

☆4月29日 昭和の日、終戦までは天皇節と言ったが、その後天皇誕生日となり、みどりの日、昭和の日に成った訳だが、今上陛下が退位されたら、上皇の日かそれとも平成の日になるのかな？  
☆5月3日

☆6月1日 1月の稀勢の里横綱昇進に続き田子の浦部屋から、大関高安が誕生した。好きな言葉は正々堂々だそう。茨城県出身の二人のおかげで、魅力のない県のNo.1のランクが少し上がるかな。

☆6月4日 プロ野球セ・パ交流戦、ジャイアンツ対オリックス、今日も又負けた。ジャイアンツこれで10連敗。今季の優勝は絶望。当分テレビの野球中継を観るのをやめようかなと思う。胃の具合が悪くなりそう。

☆6月15日 共謀罪法案成立、何とも乱暴な方法で。かつて参議院は良識の府と云われたのだが、今や死語になったのか。数さえあれば議論もなしで押し通すのが民主主義だとも思っている人たちがいるのが悲しい。  
☆6月22日 将棋界の新星、14歳の藤井聡

# 乾坤秀靈

太四段がプロデビュー戦から歴代最多の28連勝に並んだ。

歴代最年少の加藤一二三九段より早い14歳2カ月でプロ棋士となり公式戦最初の相手が加藤九段だったのも何かの因縁かも。この先どこまで記録が伸びるのか楽しみだ。

☆6月27日

今朝の新聞一面に、藤井聡太四段の29連勝が大きく取り上げられていた。ほかにニュースがないのかと思う位で、安倍総理の都議会選挙応援の記事の扱いが心なしか。かすんで見えた。

## 私の半世紀

現・アイキ工業(株)会長 秋山利光



憧れの東京で最先端企業であるプラスチックス会社(社長は

北会津出身)に就職。希望に燃えた前途でしたが、五年後には向学心が芽生えて一念発起。進学を目指して1年間帰郷。勉学に励んだ甲斐あって中央大学工学部機械科に入学。2年後に方向転換し千葉大の工業意匠科に転校。数年後には大学の郊外移転でやむなく中途退学。その間アルバイトの大半は当初の職

# 根性一途

歴・知識を生かしたプラスチックの加工機械製造(初めは中古機械のオーバーホール)でした。人生の進路を決定的にしたのは昭和43年にダンボールシートへの連続印刷機械100万円トへの大手機械メーカーと契約できたことで、機械屋で生きようと確信し、独立に踏み切りました。現在では、段ボールシート製造の付帯設備メーカーとして国内外で社名が知れ渡るようになりました。振り返ればこれらの成功はアイデアと実行力、そして多くの特許製品を味方にしたことです。

## 自分からはつきり元気にあいさつしよう

二瓶 正人  
(昭37K卒)

「おはようございます」「さようなら」など、「あいさつ」はできて当たり前とされていますが、実際には大人でもちゃんとできていない人が沢山います。きちんとした事ができる人はみな「あいさつ」の大切さを知っています。

もし、あなたが「おはようご

ざいます」とあいさつしたのに、「ああ」というだけとか、あるいは何もいってくれない人を見たらどう思うでしょうか?

「何だ、この人は」とがっかりしますよね。では、「おはようございます」とあいさつした時、ニコリ笑って「おはようございます。きょうは本当に気持ちのいい朝ですね!」といわれたらどうでしょう。全然違います。とくに、「おはようございます」のあと、このように何か一言つけ加えると、いっそう親しみがわきますよね。たった一言のあいさつですが、実はこのあいさつでその人の印象は大きく違ってきます。あいさつは人と人との関係を良くするものであり、その人と過す時間、いかに

一瞬でも、その時間を大事にしようという気持ちのあらわれでもあるのです。

又、あいさつは自分から。これも大事なことです。なぜでしょう? ひとつには、自分からあいさつするのは、その人への感謝の気持ちになります。感謝の気持ちもてるかどうかは、とても大事なことです。また、いつも自分からという気持ちがあるかないかは大きな差になります。言われたらやるというのではなく、自分から進んでやるという姿勢は何かを成し遂げようとする時欠かせないのです。各界で活躍されている人はみな清々しいあいさつもきちんとしています。自分から明るくはつきり堂々とあいさつします。



平成28年度公益財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業  
平成28年度福島県スポーツ推進委員研究大会  
全大会会場  
とき 平成28年10月21日・ところ 田村市文化センター

私も集大成の一つとして、当たり前のことを当たり前に凡事徹底していきます。

## 学校時代の想い出と近況

石本 清八  
(昭39K卒)

一年は吉田雅、山田弘臣先生が担当されました。教科目に実習というのが有り最初に教わったのが竹べら作りでした。15センチ位の竹の先端をナイフの様な形にし、もう一方はへらの様な形で粘土で器などを作る時に使用する物でした。次に不器用な私には大変苦労したのが粘土の中の気泡を除くという菊練りでした。先生は上手に練られた跡が菊の紋になつていたので私には出来なかつた事を覚えています。時々テレビ等で陶芸家が菊練りをしている映像を見ると懐かしく思い出します。今手元に青紫の釉の湯呑が有り、実習で作ったもので朝早く学校に行き窯に薪を使いながら点火した事を覚えておりその時の物です。3年間は色々な思い出があります。修学旅行、会工祭などなどです。

卒業してからは同じ会社に就職した加藤さん以外同級生と会



います。又、会津赤ペコ会にも参加して、3月には浅草で「会津料理を食べよう」(ニシン、田楽、馬刺し、蕎麦、てんぷら)、5月には会津の市町村長さんが出席される会があります。又、3月には徳島県鳴門市坂東俘虜収容所を訪ね、松江豊寿大佐(松江春次氏の兄)が所長をされ会津武士道の心に感銘を受けました。

### 会津工業高校と 松江春次氏

梨子本 傑  
(昭41K卒)



松江春次(1876-1954)

う事もなかったですが、3年位前ですが私の姉が若松に居ますので、若松に帰った時本郷の瀬戸市が有るといので行きましたがセラミック科のコーナーは閉まっていたが街を歩いていたら水野俊彦さんに偶然会いました。50年位経っていましたか? 一目見てわかりました。水野さんも直ぐに気付かれました。ビックリしました。セラ友会にも機会が有りましたら出席したいと思旧友とも会いたいと思います。同封した写真のコピーは3年生の頃の石膏を作った口クロでの成形の時かも知れません。

近況ですが、東京会工同窓会に参加し各催し物等を楽しんで

# 百戦錬磨



松江春次氏は、野口英世と同じ歳で明治9年(1876)、若松の馬場五之町の高厳寺の借家で父久平、母のぶの二男として生まれた。兄豊寿(第9代会津若松市長・ドイツ人捕虜収容

所の寛大だった所長として知られる)、妹芳子の三人兄弟だった。父久平は会津藩士だったが、戊辰戦争のあとわずかな田畑を耕す貧しい生活だった。母のぶが賢母で教育には人一倍熱心、兄は陸軍士官学校に、春次は会津中(現会津高)から、東京工業学校(現・東京工業大学)応用化学科に進んだ。ここで春次は砂糖と醸造について学び、のちに南洋開発の父と言われる事業家になる出発点となった。

カルのルイジアナ大学に入学。卒業時には科学修士号(マスター・オブ・サイエンス)を取得した。現地の製糖会社に職工として入社したが、たちまち頭角を現わし、一年の間に技師に抜てきされ周囲を驚かせた。この間、角砂糖の研究を進め、以後ヨーロッパに渡り、製糖事情を視察し、明治41年、帰国した。5力年に渡る米欧遊学で目は世界に向け、大きく広がった。

春次氏は、寝食を忘れ研究に没頭し首席で卒業。いったん大日本製糖に入社する。しかし、砂糖への研究心は強く、アメリカ

春次氏は帰国後、日糖大阪工場に戻り、すぐに日本で初めて角砂糖を製造した。しかし、日糖事件が起こり、以後製糖会社4社を渡り歩き、大正10年、南

洋サイパンに渡り、南洋興発を設立した。  
大正から昭和への20年間、南洋での苦難を乗り越え、「王国」を造り上げた。製糖事業にかけた情熱はすさまじかった。一方で、「青少年の教育にも熱心だった。持論は、少年は未完成であるが、それだけ将来性がある。如何なるものでもその推進力となるものは少年である。」  
この少年への愛は故郷会津にも向けられた。会津工業学校(現・会津工高)の機械科設置に昭和14年、33万円を寄付した。地元からの懇願を聞いた松江は「機械科は世界的に必要になってきているばかりでなく、将来無限にその需要が高まってくるだろう。その学校が郷里若松に出来ることは双手をあげて祝福し、支持せねばならぬ」と語り、「その資金は私一人で出させてもらう。私は自慢で出すのではなく、松江ですら参拾万も郷里に投げ出したとなれば、今日成功している在京会津人の先輩諸氏もまた、その気になろうと考えるゆえ出すのである」(会津工高三十五年史)  
松江春次氏の私財提供で同校では校舎改築と機械科の備品が購入され、北の建物全部と講堂、松江記念館とが増築された。同校六十年史に記されている。



# 今年度受賞・活躍された先輩

## 記念法要



祭文を読み上げる大竹会長君

京都など関西在住の会津ゆかりの人でつくる「京都會津会」（大竹文夫会長、下郷町出身）は11日、京都市の浄土宗大本山の金戒光明寺の塔頭・西雲院で第112回記念法要を行い、幕末の京都で落命した会津藩士のみたまを慰めた。

来賓の会津松平家第14代当主の松平保久氏、室照郎平会津若松市長、目黒章三郎市議会議員、柳沢秀夫会津会会長代行など約80人が参列した。

読経、焼香のほか、大竹会長が「京都を守り、二度幕末の会津藩主・松平容保が京都守護職に就いたこの家族などの墓が建立された「会津墓地」がある。

京都會津会会長 大竹文夫(S31C卒)

## 京都會津会が記念法要

## 郡山駅開業130周年

## 五十嵐浩駅長に聞く



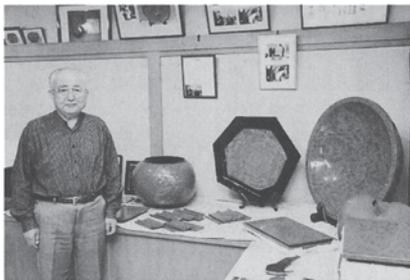
「社員一丸となって、さらに魅力ある駅にしていきたい」と語る五十嵐駅長

いがらし・ひろし 喜多方市塩川町出身。会津工高卒。1979（昭和54）年4月入社。JR福島駅総務助役、JR山形駅副駅長、JR東日本仙台支社勤務課長、同支社総務課長などを歴任。今年4月、JR郡山駅長に就任。同駅勤務は26年ぶり。56歳。

平成29年7月16日付 福島民友  
五十嵐浩・旧姓吉田(昭54L卒)

## 漆工芸品展示

### 感謝込め 漆芸品展示 郡山の旧作から新作1000点 折笠さん



郡山市文化団体連絡協議会副会長を務める郡山市の工芸家、折笠光助さんの展示会は六

月三日まで市内の折笠うるし工房で開かれている。五十三年間制作してきた漆芸品を感謝の気持ちを含めて全商品半額で販売している。

会場には過去の展示会出品作品や新作など約千点を展示している。茶わん、はし、お盆などの生活に生かせる。

入場無料。時間は午前10時から午後六時。不定休。問い合わせは折笠うるし工房 電話024(945)1628へ。

平成29年5月9日付 福島民報社  
折笠光助(昭和33L卒)

## 会津本郷焼き窯元・宗像窯「窯出し」

## 4年ぶりに「窯出し」



登り窯から作品を取り出す利浩さんと利訓さん

**登り窯修復**  
会津美里町の会津本郷焼の窯元・宗像窯は12日、2013（平成25）年以来、4年ぶりに火入れた伝統の登り窯から作品を取り出す「窯出し」を行った。

**会津本郷焼窯元の宗像窯**  
利浩さんは「想像していた窯が崩壊したが、本県出身者ら有志の協力を得て修復を済ませていきたい」、利訓さんは「作品のひび割れなどを心配していたがスムーズに窯出しできて一安心した」と話した。

取り出した作品は利訓さんの個展などで披露される。

平成29年6月15日付 福島民友 宗像利浩(S50K卒)

# 今年度受賞・活躍された先輩

## 野球部OB会激励金贈る

渡辺主将(右から2人目)に激励金を手渡す薄会長(左から2人目)



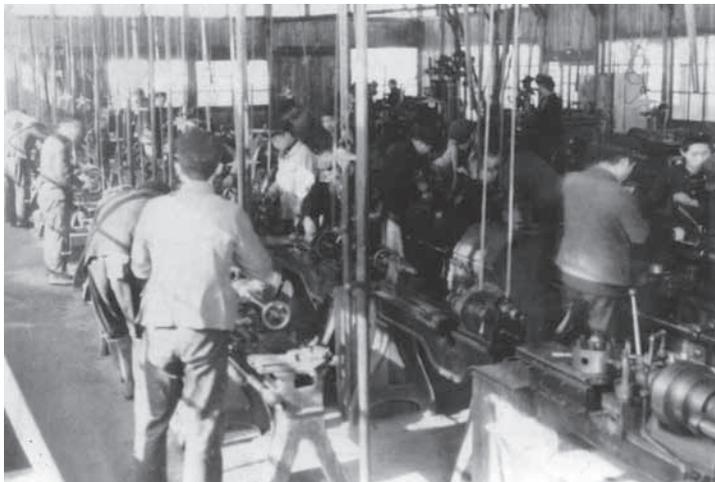
野球部に激励金贈る  
会津工高野球部OB会  
7日に開幕する夏の高校野球福島大会を前に、会津工高野球部OB会(薄俊昭会長)は4日、同校野球部に激励金20万円を贈った。同会は毎年、会員らから寄付などを募って激励金を贈っている。会津若松市の同校で行われた贈呈式では、二瓶賢一校長と金田正

会工野球部OB会  
会長 薄俊昭(昭40E卒)  
副会長 金田正夫(昭43D卒)

夫同会副会長が見守る中、薄会長が選手代表の渡辺一輝主将(3年)に激励金を手渡し「シード校との戦いだが頑張ってほしい」と激励した。渡辺主将は「今まで取り組んできた成果を出して甲子園出場を目指します」と意気込みを語った。

平成29年7月6日付 福島民友

## 前松江春次顕彰会会長 横山嘉夫氏 寄贈 松江春次記念館に展示



昭和25年 機械科実習の様子

## 陸上OBのぼり旗寄贈

「奮えや」会津工高陸上部

## OB、のぼり旗寄贈

会津工高陸上競技部OBの、のぼり旗を製作した。会(村松栄副会長)は17日、陸上競技部を応援するのぼり旗5本を母校に贈った。OB会がマステイズ駅伝に初参加したことをきっかけに、のぼり旗の製作が持ち上がった。完成したのは、旗はチームカラーに合わせたカラーで、同校の「頑張れ応援」の歌詞の「一節「奮えや」の原田翔平部長(3年)に、OBの会費の中から資金を出し、OBもできることを

していく、頑張ってほしいと激励したのに対し、石崎顧問が「OBの活躍に負けないよう頑張る、原田部長が「先輩方が築き上げた歴史を尊敬しており、部員一人一人が全力を尽くす」とそれぞれ決意を披露した。



母校の陸上競技部ののぼり旗を贈った村松会長(左から4人目)

がんばる会工OB  
会長 村松 栄副(昭49K卒)  
事務局長 五十嵐幸夫(昭57K卒)

## 歴史の重み



教頭 五ノ井平吉

同窓生の皆様におかれましては常日頃より絶大なご支援を賜り深く感謝申し上げます。本年4月よりお世話になっております五ノ井と申します。何卒よろしくお願いたします。

さて、先日、漆器組合より問い合わせがあり、本校の創設期について調べてみました。恥ずかしながら会津工業高校について、「歴史と伝統に裏打ちされたOBの皆様が各界で活躍されている工業高校」という理解しきもち合わせていなかったのも、本校が福島県で最も古い工業高校であることを知ったのも赴任してからのことです。そんな私ですので関係者ご一同の創設期にかかるご労苦は全く知る由もありませんでした。

「会三十五年史」によりまず、「明治十七年漆器徒弟学校を設立して、徒弟の要請に努めたのであって、当時修業年限三年にして学術と技芸とを習得せしめた」。また、「明治三十七年これを県立工業学校に昇格して漆工を置き、学術と実技の研究とを兼ねて習得せしめ」とあります。また、「会工創立六十周年記念誌」には、「旧藩時代より漆器の生産地として、古い歴史をもつ会津は、地元の要望により技術者養成機関として漆器徒弟学校が設立され」、「当時の授業は実習時間が三〇時間あって、主として実習を通じての訓育であった様である。当時徒弟学校から移ってきた生徒に対しては、月額一円五〇銭の補助（漆器組合から）があった。…生徒数は定員より多く実に盛んであった」とあり、奨学金資金まで整備され、いかに地元の期待が高かったかがうかがい知れます。漆工科について書き留めましたが、染織や陶芸、醸造などについても先達の並々ならぬ情熱を知ることが出来ます。創立一五年の現在の本校は学科編成こそ設立当初とは異なっているものの、会津のものづくりの殿堂としてさらなる発展を進めなければなりません。皆様のご支援をいただきながら、初心に帰り、微力ながら職務にあたる所存です。

## 進路指導部から

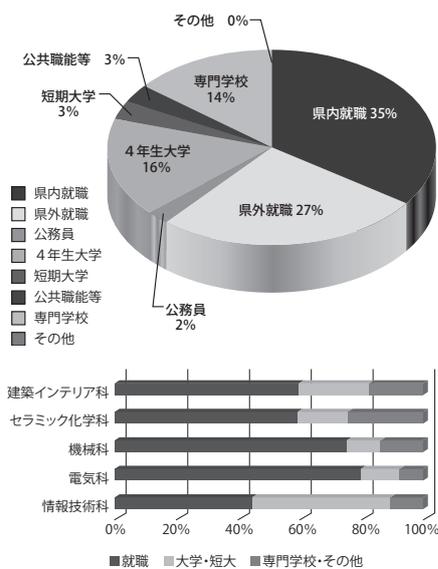


主任 菅家 慶広

同窓生の皆様におかれましては日頃の本校の教育活動、または在校生への支援に対しまして改めて感謝申し上げます。

今年度の進路状況をまとめましたのでご覧下さい。さて今年度も本校受付の求人数は昨年度に引き続き、ほぼ1000社（3次募集まで含めて）を超えています。「ぜひ会工の生徒が欲しい」と何度も本校に足を運んでいただく企業もとても多い状況です。電話も頻繁にいただいています。今年度は1回目の企業で採用内定をいただいた生徒は95%近くに上り、近年ではとても高い数字となりました。3年生が自分の将来を冷静に設計・判断し、それに向けてしっかり準備や企業分析を行った結果だと思えます。1回目の企業で不採用の通知を受けた生徒達はずぐに気持ちを切り替えて次の目標を決定し、積極的に行動を起こしました。その結果11月中にはほとんどの就職希望者の内定

グラフ1 平成28年度卒業生進路状況



グラフ2 平成29年3月卒業生の進路状況(科別)

が決まりました。今年度の特徴は県内の好景気が継続していることもあり、地元企業への就職率が例年よりさらに高かったことがあげられます。ただ会津工業高校は歴史的に特に「県外就職希望が多い」という情報が業界に広がっており県外企業からは本校生への強力なアプローチが絶えません。また今まで大卒採用のみだった企業が高卒でも優秀であれば採用したいといったケースや高卒は技能職採用のみだった企業が技術職・研究職で採用するケースも増えてきています。また「会津工業生しか採用を考えていない」という事業所も少なくありません。その大きな理由は同窓生・会工OBの皆様が職場で非常に重要で信頼される立場にあるということです。この先輩方のご活躍が後輩に引き継がれるという歴史をつくっているのです。

大学進学に関しては今年度については、残念ながら国公立大学の合格者は0となりました。大学全体としては広き門となっておりますが国公立大学のハードルは工業高校生にとっては未だ高いものとなっております。今年度も工学部系の大学は多くは指定校推薦で合格しています。その他、スキー、ボクシング、バレーなどスポーツ推薦で合格している生徒もいます。

公務員も警察官・市町村行政職などは以前よりはやや広き門となっているものの公務員の採用試験の内容はかなりタフで一次選考から最終選考までの期間も長く発表も遅いです。今年度はかなり厳しい結果となりました。

最後になりましたが同窓生の皆様には各地区会工会・各科OB会・職域会工会などを通じ、今後も若き後輩達への温かいご支援・ご指導をお願い申し上げます。

# 母校だより

# 母校だより

## 29年度新入生



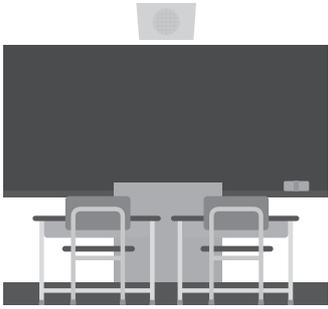
1学年主任 岩沢 巖

伝統ある会津工業高校に、今年も新たに239名の新入生

が入学してきました。入学当初、期待と不安でいっぱいだった生徒たちも、入学後半年が経ち、高校生活にも慣れ、学業・部活動そして資格取得など、一生懸命取り組んでいます。

さて、1学期を振り返ってみますと、入学式の次の日に初めて上級生と会う『対面式』。応援団のリードで2、3年生が校歌・応援歌を披露しました。圧倒的な勢いに、驚きを隠せませんでした。後日行われた、1年生の校歌・応援歌練習では、全然歌えなかった生徒も、大きな声で歌えるようになりました。4月の下旬には、各科毎にお城に行ってレクリエーションを楽しみました。天候にも恵まれ、良いお花見ができたと思います。6月には強歩大会がありました。12kmと、距離は短いのですが、これもまた天候に恵まれ、みんな完走することができました。7月には球技大会があり、クラス毎におそろいのTシャツをそろえたクラスもあり、それぞれの種目で一喜一憂しました。

夏休みも終わり、いよいよ2学期が始



まりました。入学当初の夢や希望を忘れず、各自の進路目標に向かって勉強や部活動、資格取得など頑張ってくださいと思います。

1年生にとつて、高校生活がまだ始まったばかりですが、今後とも、諸先輩方の様々な場面でのご支援・ご協力をお願いいたします。

## 中堅学年として夢そして笑顔



2学年主任 渋川 順一

夏休み前、猛暑のため保健室で休む生徒が多く見られた今年、どんなに暑くなるかと心配されました。学校の配慮で各教室に1台の扇風機が新たに設置されましたが、2学期が始まって見ると、そんな気温はどこにいったのか、比較的過ごしやすい2学期が始まりました。

2学年の2学期は学校行事が多く、有意義な時期になります。インターシツプ、修学旅行、芸術鑑賞、各種資格検定などがあります。さらに、3年生が抜けた各種活動(部活動や生徒会活動)において学校の中心としての活躍が期待されます。

思い起こせば昨年度の入学式から早いものではや1年以上が過ぎました。日々顔を合わせていると、その変化に気づきませんが、生徒諸君は確かに成長しています。この夏休みに長期インターシツプの閉会式のためにオリンピックを訪ねました。参加した生徒は6名ほどでしたが、学校生活とは違う生徒の変化に大変驚きました。5日間の中で、チームとして作業する意味や、現在やっていることを一生懸命に仕上げようとする熱意が十

分に伝わっていました。もちろん、言葉遣いや仕事も十分に社会人として通用するレベルで「もう私のいうことは何も無い」という感想をもちました。わずか6人の生徒がこのようなので、他の生徒諸君にあっても、私の見えていない部分がほとんどであり、各個人がそれなりの成長をしていると期待しています。

オリンピックでの閉会式で、一番印象に残るのは、やり終えた生徒諸君の「笑顔」のすばらしさです。目標を持ち、それに向けて努力した結果得られたものであると確信しています。つらいこともあったと思いますが、やり終えた達成感が人を笑顔にするのでしょう。日々生活している中で、何ら目標を持たずに「楽しければいい」という生活をしている「笑顔」とは異なる「笑顔」に今後期待します。

# あと半年で卒業



3 学年主任 村田 光夫

月日の経つのが早く、ついこの間入学したと思った生徒たちも、あと半年で卒業を迎える時期となりました。諸先輩方におかれましては、高校生活はあっという間に過ぎ去ったことではないでしょうか。充実した3年間だったと自信を持って言える人はどれくらいいるでしょうか。あれもやっておけばよかった、これもやっておけばよかったなど、振り返れば後悔しかない人がほとんどではないでしょうか。という小学生も例外ではなく、数十年前の高校生活を振り返ってみると、やはり後悔しか浮かんできません。ですから、実際に高校生活を送っている今の生徒たちに、なるべく充実した生活を送ってもらいたいと切に思っています。

さて、今の時期（9月中旬）ともなると就職活動真っ盛りです。部活動の引退後、就職希望者は、夏休み中に希望する会社に見学に行き、自分がその企業で働いているイメージをつかんでもらいましょう。そして、夏休み終了直前には履歴書書きです。志望の動機がなかなか書けない生徒もいて大変だったと思います。夏休み明けには、面接練習です。日ごろ、きちんとした態度で生活していれば、わざわざ練習などしなくていいのですが、

どの会社、学校にも課せられる面接なのでしっかりと練習して好印象を企業の人たちに持ってもらいたいと思います。実際には、9月16日から就職試験が解禁になりますが、今年16日が土曜日で17・18日と連休になるため、大半の企業では19日就職試験となります。今年も求人数が非常に多く、就職希望者にとっては恵まれた年といえます。しかし、企業もボランティアで採用するわけではありません。この生徒を採用して会社にとって利益になるかということを採用試験で判断するわけです。ぜひ、第1希望の会社から内定をもらえるように頑張ってもらいたいと思います。諸先輩方が務めている会社を受験する生徒も多数おられます。そして、内定をいただいたときは温かいご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

先日、いったい卒業まであと何日登校すればいいのか数えてみました。そうしたらなんととくに100日を切っていて9月14日時点で79日でした。それが、長いと感じるか短いと感じるかはそれぞれ違いがあると思いますが、残りの高校生活を先ほども言いましたが悔いの残らないように送ってもらいたいと思います。

最後になりましたが、諸先輩方の様々な場面での応援を今後もよろしくお願いいたします。

# 母校だより

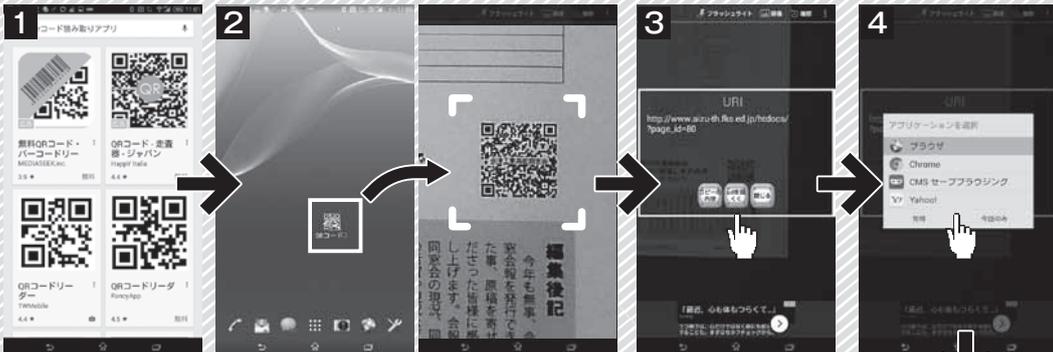
## 同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます

投稿用メールアドレス [kaikoudousukai@agate.plala.or.jp](mailto:kaikoudousukai@agate.plala.or.jp)



QRコード



〈手順〉

- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
- ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
- ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
- ④URLを開くを選択しますとブラウザ選択画面が表示されますので、お好みのブラウザを選択してください。
- ⑤同窓会関連連絡を選択します。
- ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。

# 「松江賞」「同窓会賞」受賞!!

## 松江賞

建築インテリア科

田部 雄己



セラミック化学科

岩橋 舞



機械科

齋藤 郁也



機械科

山内 隼人



電気科

日下部 拓良



情報技術科

星 洸彰



## 同窓会賞

建築インテリア科

木村 雅哉



セラミック化学科

星 雅人



機械科

小山 巧真



機械科

木村 譲司



電気科

鈴木 隆太



情報技術科

鈴木 理仁



# 平和の覇者を育みぬ。

校歌から

## 学び舎 ロケーション ① 専門課程は、いま。



### 建築インテリア科

主任 長谷沼 徹  
日頃より、同窓会の皆様方にはご支援とご協力を頂きありがとうございますとございます。社会に貢献できる建設産業人材の育成を目指して、在校生が益々活躍できるように、今後とも本科の教育活動に皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、平成29年度人事異動により、32年間、本校に勤務されていた、岩瀬浩之先生が喜多方桐桜高校へ転勤となりました。代わって、小高工業高校で講師を務め今年度新採用として利根川真美香先生をお迎えし、7名のスタッフで今年度がスタートしました。

#### 【建築インテリア科職員】

- 長谷沼 徹 (科主任)
- 寺島 弘幸 (建築インテリア科2年担任)
- 菅家 慶広 (進路指導主事)
- 黒澤 静子 (建築インテリア科1年担任)

高橋 弘光 星 明宏

利根川 真美香

#### 【クラス関係】

##### ◆3年

担任 佐藤 慶一

副担任 長谷沼 徹

担任 寺島 弘幸

副担任 日出山 亜希子 (国語)

##### ◆2年

担任 黒澤 静子

副担任 井関 有紀子 (国語)

以上、クラス担任、副担任を合わせるると10名で構成されております。

##### ◆1年

担任 黒澤 静子

副担任 井関 有紀子 (国語)

以上、クラス担任、副担任を合わせるると10名で構成されております。

生徒の状況ですが、3年生40名(男子22名、女子18名)、2年生40名(男子19名、女子21名)、1年生40名(男子18名、女子22名)となりました。科全体では、男59名、女子61名となりました。

今後、女子生徒の進路先の確保が課題となります。

今年度の進路希望状況ですが、担任の佐藤慶一先生のきめ細かな指導により、就職希望者が30名(内公務員希望1名)、進学希望者が10名となっております。今年度の求人においては、昨年同様に建設関係企業の人材確

		男子	女子	合計
福島県内	建設業	3	3	6
	その他	3	4	7
福島県外	建設業	8	1	9
	その他	2	5	7
公務員		0	1	1
大学	建築系	4	2	6
専門学校	建築系	1	0	1
	その他	1	2	3

保などの需要で好調です。管内企業においても例年になく求人数が伸びておりますが、希望通りの人材確保ができていないのが現状です。

一人でも多くの生徒が地元の建設業への就職し、貢献できるように努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

### セラミック化学科



主任 石崎 晃  
本校セラミック化学科は、地



域に根ざし、社会と復興に貢献できる人材の育成を目指し、日々の教育に励んでおります。会工同窓会の皆様には、科の教育活動にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。本年度も、よろしくお願ひいたします。

さて、昨年度末の人事異動により、熊田志郎が定年退職しました。その代わりに郡山北工業高校から佐藤伸哉が新たに配属され、村田光夫、村山彰一、山野敏、大濱達明と石崎晃の新体制で今年度が始まりました。

〈生徒の在籍状況〉  
・1学年 男子21名、女子19名

担任：加藤善範  
副担任：山野 敏  
・2学年 男子19名、女子19名  
担任：川井 勉  
副担任：村山彰一

・3学年 男子19名、女子21名  
担任：村田光夫  
副担任：品川実香

〈主な学科の取組と行事〉  
4月 科対面式、セラ友会花見  
会津総合美術展出品

5月 美里町お茶会(作品展示)  
工場見学(三年)  
6月 セラミック能力検定  
32名合格(三年)

7月 全国統一陶芸検定  
初級12名、中級1名、  
上級2名合格

8月 会津本郷せと市  
ものづくりコンテスト東  
北大大会 化学分析部門  
優勝

9月 陶祖祭  
10月 ものコン大会(化学分析部門)

11月 市民美術展応募  
12月 ろくろ技能検定講習会  
1月 ろくろろ技能検定



陶磁器能力検定(1年)  
2月 同窓会のセラ友会入会式  
3月 卒業式  
〈科生徒たちの活躍〉  
・ものづくりコンテスト東北大会(化学分析部門)  
優勝 馬場 愛生(2年)



・新体操部 県高校大会個人2位 玉川望夢(3年)  
(全日本ユース新体操選手権出場)

・ボクシング部  
田部柊哉(2年)  
県高校大会ウェルター級優勝(全国大会出場)

・陸上競技部  
木村吉希(2年)  
県新人高校3000米4位

(東北新人大会出場)  
・セラミック化学部(陶芸班)  
会津総合美術展  
青少年奨励賞  
「彩」青折笠 哲郎(3年)



「黒瓶筒」鈴木 悠生(2年)生徒会  
会長 佐藤彩也音(3年)  
副会長 木伏 彩佳(3年)  
その他、運動部の他に文化部も熱心に活動し、正に文武両道を実践している。

○その他の活動  
〈会津支援学校との交流学習〉  
7月5日の午後、会津支援学校の陶芸班16名に対して、「工芸デザイン」を選択学習している生徒8名が指導者となり、「ししぎ」による湯飲み制作の指導をおし交流を深めた。

〈海外研修〉  
・横山思実(3年)  
ヨークベニマル文化教育事業財団が主催する「アメリカ・カナダ海外研修派遣事業」の研修生(福島県内高校生五名)に選ばれ、7月23日から8月20日9日間、カナダ・マニトバ州にホームステイし体験研修をした。

・木伏彩佳(3年)  
TOMODACHI SoftBank Summerリーダーシッププログラムに参加し、7月21日〜8月10日まで、アメリカのUCバー



クリーで地域貢献とリーダーシップの学習をしてきた。  
〈県主催イベントに参加〉  
・環境教育フェスティバル  
環境創造センターオープン周年記念企画として、三春町コミュニティ福島で行われた。県内工業高校を代表し「廃油による洗濯用粉石けん」実習のパネル展示説明と配布を行った。



# M

## 機械科

科長 渡部 哲  
今年度の人事異動では、本校に4年間勤務された由田桂一先生が、白河実業高校に転出されました。代わって、新採用で武田秀幸先生が着任されました。また、新採用の時間補充のため、以前本校に勤務経験のある佐竹勝行先生が時間講師として着任され、週2日間授業をお願いします。

ることになりました。そのため今年度の機械科のスタッフは、14名でのスタートとなりました。機械科は、本校の工業科の中でも、最もバランスのとれた年代構成になっており、素晴らしいスタッフであります。

担任は、1年生は1組岩沢徹教諭・2組佐瀬和久教諭、2年生は1組山田賢教諭・2組齊藤雅夫教諭、3年生は1組鈴木雅博教諭・2組阿部友一教諭の6名でクラス経営にあたっています。

機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。最近、基礎学力の低下が顕著に見られるため、基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図るべく、職員一丸となって取り組んでいます。

- ・7月 同窓会機友会から機械研修部への激励金贈呈式
- ・4月 新入生対面式 機友会花見
- ・9月 基礎技能検定(普通旋盤 前期講習会及び試験)
- ・11月 基礎製図検定



講演会の様子

に企業に迷惑をかけてしまおうのが現状です。今後は、企業の幹旋には、ミスマッチの起こらない対応をしたいと考えています。  
〈各種大会での参加と活躍〉  
○福島県高校生ものづくりコンテスト2016旋盤作業部門第3位 菅野遙矢(2-2)  
○ワールドエコノムープ2017(大潟村)  
総合21位、Jrクラス12位  
○ホンダエコマイレッジチャレンジ2016もてぎ大会  
グループII(高校生クラス) 14位  
○福島県高校生ロボット競技大会 決勝トーナメント出場して11位  
○本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2016  
高校生クラス34位、2人乗りクラス3位入賞  
〈各種イベントへとコンテストへの参加〉  
○ロボコンinあいつ2017への参加と協力  
〈各種資格取得について〉  
○機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験  
品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検定(普通旋盤)など、専門分野の資格に多くの生徒が挑戦して、すばらしい結果を残しています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も多数ですが、昨年度は、受賞者が大変少ない年になってしまいました。

昨年、多くの企業からの求人があり、生徒にとっては選択肢の幅が広く、担任として大変助かった年になりました。しかし、近年問題になっているのは、少子化により長男が県外就職を希望する例が多くなってきたことです。そのため、中には2年〜3年で会社を退社して地元に戻ってくるケースが見られるようになってきました。我々としても、進路決定の時には、保護者・本人に十分考慮させて決定しているのですが、結果的

昨年、多くの企業からの求人があり、生徒にとっては選択肢の幅が広く、担任として大変助かった年になりました。しかし、近年問題になっているのは、少子化により長男が県外就職を希望する例が多くなってきたことです。そのため、中には2年〜3年で会社を退社して地元に戻ってくるケースが見られるようになってきました。我々としても、進路決定の時には、保護者・本人に十分考慮させて決定しているのですが、結果的



大規模改修工事が完了した北二棟(外側)

大規模改修工事が完了した機械科教室



〈その他〉  
◇昨年は初めての取り組みとして、「OBによる講演会」を企画し、昨年の11月25日に2年生78名を聴講生に開催しました。講師として、昭和41年卒業の吉野 悟氏をお願いし、「こんな生き方をしてる先輩もいます。」というテーマで約90分間の講演をしていただきました。吉野さんは、(株)H-Iに入社され、定年後も嘱託として勤務なさっており、航空エンジンやロケットエンジンの開発に長年携わってきた方で、生徒達も熱心に興味を持って講演に耳を傾けていました。  
◇5年前から実習棟の新築工事及び大規模改修が進められていましたが、今年の2月に北二棟の大規模改修工事が完了して全終了しました。きれいな環境のもとで、生徒・教員が一丸と

なつて授業に取り組んでいきたくと考へております。  
最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも機械科に対して、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。また、毎年、同窓会機友会から機械研修部に対して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。



## 電気科

主任 井上 浩一  
今年度は、電気科における人事異動はなく、佐藤直樹先生が南東北インターハイ実行委員として、前期9月まで、会津若松市教育委員会スポーツ推進課に出向する形になり、補充教員として、昨年に引き続き菊池壽雄先生にお世話になる形でスタートしました。

担任の先生方を紹介します。  
1 年担任に片寄悦広先生で、担当教科が地歴公民になります。  
2 年担任に渋谷順一先生で、担当教科は理科・学年主任になります。  
3 年担任に佐久間智広先生で、担当教科は工業であります。  
昨年・平成28年度電気科の活動状況をお知らせいたします。  
1 H28就職・進学について  
就職希望者32名中、県外企業に21名、県内企業に11名の内定

を頂きました。電気科卒業生ならびに同窓生の活躍により県内外から多くの求人を頂いている結果、順調に進路を決めていることができました。多くの生徒が一次募集で内定を頂けたことから、企業様の採用意欲が上昇していることを感じるばかりでございます。

進学希望者8名中、4年生大に5名、専門学校に3名となっております。

2 H28発電所見学  
1 年生 東新潟火力発電所  
2 年生 西山地熱発電所 沼沢第一水力発電所  
電気科では、高校在籍中に、火力と水力の発電所を見学し、電気に関する見識を深めることにしております。昨年同様に、東北電力様のご厚意により、発電所見学前に、発電の原理について講義を頂き、電気が身近なものであり大切なインフラ設備であることを感じただうえで、発電所見学を実施いたしました。電気機器分野への関心も深まったと思っております。

見学にご協力くださいました企業様に感謝申し上げます。  
3 H28資格取得状況について  
第2種電気工事士資格試験に、1年生25名、2、3年生4名の29名が合格しました。  
学年度末での第2種電気工事士取得率は下記の通りになります。  
1 年生 62・50% 2 年生 92・5% 3 年生 95・0%  
平成23年度より、新入生全員に第2種電気工事士前期試験を受験させております。2 学年 3

学年での充実した学校活動を考慮して、1 年次からの受験としております。  
1 学期中は、ほぼ毎日補習授業を行いました。生徒は大変かも知れませんが、教員は生徒との距離感が近くなることを日々感じ楽しく取り組んでおります。  
1 年次に、結果が伴わない生徒もおりますが、卒業までには、生徒全員を合格させたいと思っております。継続的に指導してまいりますので、生徒を温かい目で見守りください。  
なお、上級資格である第1種電気工事士試験は、合格者2名という結果になりました。  
電気工事士試験は、根気強く講習会に参加し、自ら学習に取り組む生徒は合格しております。生徒の学習意欲を高めるような工夫も考へて、補習授業に取り組んでいきたいと思っております。

・ インターシップ事業  
2 年生40名全員が、東北電気保安協会様、会津管内の電気工事の企業様にお世話になりました。

4 コンテストおよび外部行事について  
・ 福島県高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」  
1 年生の代表生徒が参加いたしました。例年2 年生が参加しておりましたが、インターシップ行事・修学旅行と行事が立て込んだことより、1 年生の参加へとシフトしました。  
代表生徒は、制限時間内に電気工事作品を完成することができました。競技大会への取り組みの厳しさを痛感したと思われま

以上が、昨年度の電気科の主な活動状況になります。同窓生の皆様には、電気科の活動に目を向けていただけるとうれしです。また、ご指導ご助力ご助言を頂けると、我々職員ならびに生徒にも励みになると思っております。  
今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

代表生徒は悔しさを滲ませていましたが、貴重な経験になったと思ひます。



## 情報技術科



主任 真田 郁夫  
平成29年度は、インターハイ競技が会津でも開催されることによる長期出張（4月～9月）による先生の補充として菊池壽雄先生を迎え、6名で担当しております。担任は、1 学年に渡邊豊教諭（情報技術科）、2 学年に石田由紀子教諭（数学）、3 学年は矢澤敦教諭（理科）が担当し、クラス経営にあたりっております。現在、全学年で118名の生徒が情報技術科に在籍しております。

本校情報技術科が平成元年に設立され、29年目となりました。目まぐるしく変化している情報化社会の中で、常に新しい技術に注目しながら、基礎・基本をベースに各分野で即戦力になれる人材育成に取り組んでおります。

近年は、企業からの求人数も上昇傾向にあり情報技術科の3 年生も県内外で良好な結果を得ております。今年も就職内定率百パーセントを目指します。進学においても、地元をはじめ、様々な大学・専門学校等に進学しております。  
企業や学校においても、情報技術はすべての分野で活用され、重要視されております。時代の変化に取り残されな

常に新しいものに目を向けながらも、基礎・基本を大切にした教育を、科職員全員で取り組んでいきたいと考へております。  
近年は各種OSを活用したプログラミングの実践演習、各種マイコンを活用したコンピュータ制御技術など、1 年生から3 年生までの通した流れの中で実施してまいります。

生徒たちは今年度も、課外活動や課題研究の活動を通し、各種資格取得に熱心に取り組み、ジュニアマイスター顕彰の受賞や各種コンテスト・コンクールへの参加など、様々な場面で活躍しております。

これからも、生徒自身の将来を見据えた目標達成や自己実現へ向けた取り組みに対し、科職員一丸となって後押しをしていきたいと思っております。日頃から、同窓会の皆様からは暖かいお言葉を頂戴しており、心から感謝申し上げます。今後とも後輩へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。  
◆各種大会などへの取組  
・ コンピューターアイデアコンテスト  
・ 高校生ものづくりコンテスト  
・ マイクロロボコン  
◆資格検定への取組  
・ 電気通信工事担任者試験  
・ ITパスポート  
・ 基本情報技術者  
・ 情報技術検定  
・ パソコン利用技術検定

時代の変化に取り残されな

# 奮るえや会工の健男児 応援歌から

## 学び舎 ロケーション② 2016会工、鍛えの各部

### 陸上競技部

顧問 石崎 晃  
山田 賢  
益子 茂  
武田 厚彦

○今年の全国高等学校体育大会（インターハイ）に向けて100m、砲丸投げ、400mリレーで東北大会出場を果たした。来年の全国高等学校体育大会（インターハイ）に向けて400mH、砲丸投げ、円盤



投げ、棒高跳び、走り幅跳び、3000mSC、400mリレーで東北大会出場を果たした。来年はぜひインターハイに！

### バドミントン部

顧問 井上 浩一  
猪股 俊伸



バドミントン部は、男子29名、女子8名の計37名で活動しています。バドミントン経験歴は様々で、小学生からクラブチームで活動している生徒もいれば、高校より始めた生徒もおります。実力や目標に差は生じますが、取り組む姿勢は皆同じです。

バドミントンの活動を通して、人間関係を築き他人と接する際の礼儀・マナーを学び、生徒自身が、自己目標を定めて、目標に向かって日々努力していきたいと思っております。

### 卓球部

顧問 小林 憲司  
児島 二郎

卓球部は、顧問の小林先生・児島先生の下、日々活動しています。現在3年生は引退しましたが、3年生8名・2年生7名・1年生5名が在籍しています。

今年度の大会成績は、地区大会は載せないということなので、県大会の結果は、下記の通りです。インターハイ県大会の男子学校対抗は2回戦対安積に初戦敗退、ダブルス安西・渡部組2回戦勝利・3回戦敗退、星・松川組、2回戦敗退、安西・渡部組は3年生、星・松川組は2年生、シングルスは安西・渡部・星・長谷川、2年生は初戦敗退、松川のみ2回戦勝利で3回戦敗退。総体県大会の2回戦で小高産業技術に勝利、3回戦で福島



東陵に敗退が男子学校対抗の結果でした。学校対抗の優勝高と試合をし、すべてにおいての差をあらためて感じさせられました。シングルスは2年生の星・長谷川・松川及び1年生の田崎が初戦で敗退した、松川が2セット取ったのが一番競った戦いでした。

だから、今後の事を考えてそのための日々の練習では、毎日外周つまり学校の敷地の外を走ることや筋トレを行ない、下半身の強化や体力の向上を目指しています。他にもフットワークが大切なので、多球練習や実戦

### 野球部

顧問 小野 裕久  
鈴木 雅博  
村山 彰一



を想定した練習などを行なっています。そして、実戦で駄目だったところの課題練習を行なっています。これらが日々のメニューになります。最後に、地区では団体・個人戦で優勝し、県大会でも勝ち、東北大会出場が夢です。

### サッカー部

顧問 加藤 善範  
小川 拓也  
栗田 克志  
高畑 利夫



高校サッカー選手権大会福島県大会の1次予選1回戦相馬農業高校に13対0、2回戦福島明成高校に2対1で勝利して、10月中旬に再開される2次大会に進出が決定しました。ベスト4

「思念は業をつくる」この言葉のもと、私たちは自分たちの思い描いたものを実現させるために、自分に厳しく・仲間を厳しく・一体感をもって、日々の練習に打ち込んでいます。今後も精一杯取り組んでまいりますので、ご声援の程、よろしくお願い致します。

以上を目標に頑張りたいと思います。また、福島県サッカーリーグ戦(F2リーグ)においても勝利を重ね、2018年度に繋げたいと考えております。チーム一丸となって目標を達成できるように全力で頑張りますので、応援よろしくお願いします。

## 体操部

顧問 加藤 義勝  
利根川 真美香

今年度の体操部は、今までにない部員不足の状況で始まりました。昨年度は、団体を何とか組める部員がいましたが、年末にかけて学校に足を運ぶ気力がなくなっており学校を去ってしまった部員や、退部する部員も出て現在の2年生は0になりました。年度が変わり、新1年生に期待をしていましたが、これも0という状況になりました。3年生2名ですが、個人競技の方で県高校大会や県総体、東北高校大会に出場しました。残念ながら



県高校大会で負けてしまい、今年度は全国大会に出場することはできませんでした。会津工業高校の過去の成績から見ると、団体は約52回出場、個人では33回出場しています。今後は、まず部員確保に努めていきながら、部活動というものを改めて考えていきたいと思っています。

## 水泳部

顧問 波川 順一  
岩澤 巖



水泳部は、13名(3年生3名、2年生5名、1年生5名)で活動しています。しかれどもそのうちマネージャーが6名で、選手が7名です。3年生の選手が引退してからは、1・2年の選手が5名(実質4名)という現状です。

水泳競技は、個人種目でありタイムを争う競技です。部員数

の過多に関わらず、タイムを目標として活動する種目です。各自1秒でもタイムを縮め上位大会に出場できるように頑張ります。とは言え、競技選手が多い方が各自のモチベーションあがりするので、多くの生徒の入部を期待します。水泳は、ダイエットなど健康維持に最適なスポーツでもあり長い人生を通して継続できるものなので始めてみてはいかがでしょうか。

## 山岳部

顧問 川井 勉  
菅家 慶広

山岳部は11名で活動しています。ふだんは小田山へのジョギングと筋肉トレーニングをしています。大会は高校体育大会、新人戦で、それぞれ地区、県の計4回です。夏合宿を最大の目標としています。今年は尾瀬の縁が岳、至仏山へ行き、夏花盛りの尾瀬を満喫してきました。しかしバテる生徒も出て支援は



大変でした。会津地区では会津高校と2校しかないので、本校から伝統のある山岳部の火を消さないように頑張っています。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

## バレーボール部

顧問 福島 広己  
湯田と 敏  
山野 敏



バレーボール部は、男子部が24名、女子部が12名の総勢36名で活動しています。休日は県外遠征や練習試合で他校のバレーボール部と切磋琢磨し、男女とも大会での勝利に向かって練習に励んでおります。また、先生

方やOB等、多くの方々からご指導・ご助言をいただき大変お世話になっております。これからも、礼儀や感謝の心を大切に、一人一人が人間力を磨き、チームワークを重視し、上位大会で活躍できるように、チーム一丸となって努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお祈りします。

## バスケットボール部

顧問 日出山 亜希子  
齋藤 大和

バスケットボール部は、日々部員一丸となって、地区大会上位入賞、そして県大会で1つでも多く勝ち上がることを目標として練習に励んでいます。3年



生9名は、会工らしいプレーを貫いた一歩前進の闘いを展開し、地区大会で好位置を維持。また、県大会でも健闘しました。また、マネージャー1名も献身的にチームを支えてくれました。夏以降、2年生6名(うちマネージャー1名)、1年生22名(うちマネージャー2名)の体制で新たな会工バスケット部がスタートしました。持ち味のスピードバスケットを維持し、どのような相手にも会工らしいプレーが発揮できるように、体力の増強と個人技術の向上に取り組んでいます。大きなプレイヤーはいませんが、チーム全員で気持ちを一つにして闘うという信念を持ち、切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。一戦一戦を大切に戦い、一戦ごとに成長して強くなるチームを目指し、一人一人が自身の成長を決意しています。今後の大会で良い結果を積み重ね、目標達成に向けて全力で頑張っていきますので、これからも先輩方の力強いご支援をお願い致します。

## 硬式テニス部

顧問 齊藤 雅夫  
佐藤 伸哉  
佐藤 直樹

硬式テニス部は3年生6名、2年生6名、1年生9名の21名でインターハイ出場を目標に活動を行っています。テニスコー

### ソフトテニス部

顧問 渡邊 秀幸  
武田 幸

トが学校に無いため、会津総合運動公園や鶴ヶ城のテニスコートを使用して練習を行っています。他団体の大会等がありテニスコートを使用できない日もあり、練習場所の確保にはいつも苦労しています。ですが、各種大会への参加はもちろん、県内外の強豪校との練習試合も多く実施し、限られた時間の中でも目標達成のために日々努力をしています。インターハイの会津地区大会では2年連続で、シングル・ダブルス・団体の3冠を達成することができ、団体としては6連覇を果たすことができました。



今後より一層の努力をしていきますのでご指導、ご支援よろしくお願いします。

### スキー部

顧問 相原 正裕  
茂木 利幸

今年度は、男子10名、女子3名の新入部員を迎え、総勢23名で活動しています。学校にコートがないため、会津若松市営のテニスコートで練習しています。技術だけではなく、メンタルの強化にも取り組み、一人一人が向上心を持って練習に取り組んでいます。



今年度は、インターハイ地区大会、新人戦地区大会の団体で好成績を残すことができました。

今年度は男子4名(アルペン2名、クロカン2名)の選手構成ですが、少数精鋭で、会津工業高校スキー部の新たな歴史を刻みます。



今年度は男子4名(アルペン2名、クロカン2名)の選手構成ですが、少数精鋭で、会津工業高校スキー部の新たな歴史を刻みます。

### 空手部

顧問 永山 小太郎  
境 僚太



私たちが空手部は、現在2年生3人、1年生2人の5人で活動しています。3年生2人が引退し、少人数ですが、顧問の先生にも恵まれしっかりと楽しく、充実的な練習に励んでいます。去年までは初心者だった2年生の実力も上達し、1年生も練習に慣れてきました。この調子で、県大会で1勝でも多く勝つていきたいです。来年度は新入部員を多く勧誘し部を盛り上げて今まで以上に精一杯練習に励んでいきます。

### 柔道部

顧問 渡部 哲  
大原 友一



今年度は3年生4名、2年生2名、1年生1名の計7名で活動しています。各自目標を持って日々の稽古に励んでいます。相変わらずの少人数ではありますが、今年度は養高校から大原先生が赴任し、例年になく密度の濃い稽古を通して、心・技・体が更に育ってきた印象があります。その結果、新人戦地区大会において、81kg級で会工では久々の1位で県大会出場を果たす事が出来ました。長い歴史と伝統がある会工柔道部の躍進が始まる1位だったと思います。今後も生徒達は、一生懸命稽古に励み、伝統を継いでいくと思いますので、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

### 剣道部

顧問 片寄 悦広  
菊地 孝夫  
近藤 真由美



島影会長をはじめOB会各位には、日頃よりさまざまな形で

ご支援いただいておりますことに心から御礼申し上げます。特に昨春秋には試合用の袴を、今年度は生徒への竹刀を、さらに剣道場の改修工を終了に合わせ冷蔵庫を寄贈していただきました。

毎年恒例の夏合宿は、少人数の学校同士が集まって開催された合同合宿に参加しました。そこにも島影会長と増井様が駆けつけてくださり、熱心にご指導頂きましたこと御礼申し上げます。1月2日の初稽古は例年通り開催予定です。新しくなった剣道場で、より多くのOBの方々に稽古を頂きたいと思っておりますのでご参加の程よろしくお願いたします。

今年度も少数部員ながら、日々の稽古に全力で取り組み、上位大会に進出できるよう励んで参ります。今後とも先輩方のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

## 弓道部

顧問 佐藤 慶一  
黒澤 静子  
中丸 淳

福島県立会津工業高等学校は今年で創立114年を迎える福島有数の伝統校である。弓道部の歴史も古く、その発足は昭和8年(1933年)にまで遡る。現在、部員数は男子17名、女子6名の計23名。保護者やOBなど多くの人々に支えられて活動している。

会津工業の弓道を一言で表せば「努力の集大成」である。その弓は日々の研究と矢数によって磨かれる。生徒は真剣に弓を教わり、書籍を通じて射法を研究する。矢数は多いもので平日100射、休日200射近くかける。言葉発せず一心不乱に弓を引く姿は、まさに本校校歌



の中にある「至誠勤労」を体現したものと言える。部員の一人一人が弓道に対する情熱を持ち、それらが彼らを動かす原動力となっている。

「会津地区の強豪」から「福島地区の強豪」へ。寒さの厳しい会津で育つ弓道魂、良き伝統として受け継がれていくことを期待する次第である。

## ボクシング部

顧問 長谷沼 徹  
小林 毅之

今年度、2年生7名(1名女子マネージャー)、1年生3名(1名女子マネージャー)が入部し、10名でのスタートとなりました。

練習場は北3棟3階で、日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的なトレーニングを日替わりで2時間程度、休日は基礎的・実践的なトレーニングを4時間位実施しています。また、校内の合宿や県内・県外合宿も多く実施しています。

8月3日から10日まで、「はばたけ世界へ 南東北総体 2017」が開催され、〈繋がる絆 魅せよう僕らの若い力〉をスローガンにあいづ総合体育館で第71回全国高等学校ボクシング選手権大会が開催されました。会津若松市でボクシング競技が開催されます。

47都道府県の149校から305名の選手と監督・コーチ合



わせて439名が参加し、熱戦を繰り上げました。開会式では、電気科2年の村上智咲さんが歓迎のあいさつをし、情報技術科2年の小池凌雅君が選手宣誓を行いました。選手として参加した、フライ級の小池凌雅君、ライト級の機械科2年1組の高橋颯君、ウェルター級のセラミック化学科2年の田部柊哉君は、多くの方々から声援を頂きましたが、1回戦敗退でした。しかし、地元開催の全国大会への参加は大きな自信になったことと思います。今後の活躍に期待したいと思います。

また、大会運営に、地元の高校から多くの補助員の生徒や先生の協力を頂き感謝いたします。ボクシング競技について、少しでも理解して頂けたと思います。今後向上心を胸にこれからも部員と顧問が一体となって練習に励みたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

## 生活科学同好会

顧問 内藤美恵子

食に関心が深く、その技術の探究心と料理を通じた人との触れ合いを大切にしているそんなメンバーが集まっています。自分たちの計画に基づき決められた時間で各々作りたい、研究したいスイーツや料理に挑戦しています。



## 建築インテリア部

顧問 高橋 弘光  
寺島 弘幸

部員10名は主な目標を2つ掲げています。まずは全国工業高等学校長協会主催の『高校生ものづくりコンテスト』(10月下旬開催)の入賞。もう一つは中央職業能力開発協会が主催して



いる国家資格『技能検定3級建築大工』(8月上旬・3月上旬実施)の合格です。

『高校生ものづくりコンテスト』では県内の建設系の学科を有する学校から約20名の代表生徒が集まり、昔ながらの大工の技を競い合います。上位入賞者は東北大会、全国大会とつながっています。本校からは2年生4名が出場しました。

『技能検定3級建築大工』の資格試験は学科と実技の両方が試されます。8月の検定試験では、部員の3年生と有志の3年生11名が受験して、10名が合格しております。

コンテストと技能検定は昔ながらの技術の修得が試され、全ての工程で意識レベルを高く持ち、無造作にやる様な作業は一切ありません。課題作成の制限時間もありませんので、作業は大胆でもあり繊細でもあり、正確さと速さと仕上がりきれいが求められ、その兼合いがポ

イントにもなります。

匠の技に興味を持ってチャレンジする高校生がいてくれるのは素晴らしい事です。しかしながら、技術は上手くなりたいたいという気持ちを先に作らないと伴いません。技術先行ではありませぬ。練習をやれ」と言われる様では選手ではありません。遊びの要素の無い、ゲーム性の無い中で必要なのは、やはり絶対に上手くなってやるという気持ちのようです。

純粋に挑戦を楽しんでいる生徒です。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

## 電気部

顧問 阿部 昇二

今年度の電気部は3年生12名、2年生9名、1年生9名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。

年間を通じた活動として、新入生に対する部活動紹介(4月)、第2種電気工事士筆記試験(6月)、第2種電気工事士技能試験・中学生体験入学における電気科の紹介(7月)、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト(10月)、第1種電気工事士技能試験(12月)などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れています。また今年度は、7月か8月にかけて会津地区で行われるインタ

「ハイ」に向け  
て、「カウン  
トダウンボ  
ード」を製作し  
会津若松市に  
寄贈しました。

製作の様子



贈呈式（会津若松市役所にて）

### 機械研修部

カート班顧問 高橋 浩二  
ロボット班顧問 茂木 利幸  
大竹 良宣  
佐藤 文康

◆カートの活動  
今年度は、1年生から3年生  
まで14名の部員で5月と10月の  
年2回の省エネ自作自動車大会  
に向けてスタート、5月の秋



福島県立会津工業高等学校

田・大瀧村ソーラーズボート  
ラインで開催されたワールド・エ  
コノ・ムーブ大会は、バッテリー  
とモーターを使って2時間の  
走行距離を競い今回は車両自体  
を空気に抵抗の少ないものに作り  
変え大会に臨み練習では良い記  
録を出すことができたが、  
本戦では雨等悪条件が重なり周  
回6周でタイヤがパンクし鉛電  
池ジュニアクラス部門12位。来  
年の大会に向け改善し上位を目  
指していきたいと思っています。

◆ロボットの活動  
機械研修部のロボット班では  
主に毎年行われている県高等学  
校ロボット競技大会に向けたロ  
ボットを制作しています。今年

は9月6日に白河実業高等学校  
で、秋田県の竿燈まつりに見立  
てたコースで、アイデアを活  
かしたロボットで参加してきま  
した。また、会津若松で行われ  
ている、ロボコンin会津201  
7にも出場し、小学生や一般に  
混じって入賞目指してロボット  
作りに励んでいます。応援よろ  
しく願っています。



ロボットの活動

### セラミック化学部

顧問 村田 光 夫  
大濱 達 明

4月の下旬に開催されている  
会津総合美術展において、今年  
度も青少年奨励賞を3年生と2  
年生1名ずつ受賞することがで  
きました。日ごろの努力が報わ  
れた結果だと喜んでおります。  
続いて5月の下旬には、本郷の  
白鳳山頂上においてふれあい茶  
会が行われ、セラミック化学部  
も作品展示をして来場者に日ご  
ろの作品などを見てもらいまし  
た。8月の第一日曜日（今年度

は6日）に毎年行われている会  
津本郷せと市に今年も参加し、  
作品販売を行いました。今年は、  
作品数も例年より少なく1時間  
半くらいで完売となりました。  
同窓生の皆さん方も、5月の最  
終日曜日と8月の第一日曜日は、  
ぜひ本郷の方においでいただき  
後輩の活躍を見てもらいたいと  
思っています。



平成29年度せと市参加者

### IT研究部

顧問 真田 郁 夫  
小関 裕 一  
山 本 義 文

IT研究部は情報技術科の生  
徒で構成されている部活です。  
放課後に情報技術科の実習室で  
活動しています。メンバーは1  
年生から3年生まで実に幅広く  
個性豊かな生徒が在籍していま



IT研究部のメンバー

昨年、ものづくり班の活動  
が少なく、学習班の活動が盛ん  
でした。情報技術者試験や工事  
担任者試験に多くの生徒が挑戦  
していました。また、会津大学  
や地元企業と連携し、勉強会も  
行っています。

◆美術部  
美術部では、展覧会やコンク  
ールに向けた作品制作に日々取  
組んでいます。今年度の活動  
としては、7月「会津地区高校  
美術連盟展」にF8号からF30  
号までの絵画5作品を出展しま  
した。また、10月会津稽古堂で  
行われる「U・18の作品展」に  
3点出展。今後の予定として、  
12月郡山文化センターで行われ  
る「県高校美術展」、1月下旬  
から喜多方市立美術館に於いて  
「高校生、あいつ美術展」が開  
催されます。現在1、2年生が  
中心となって風景画や静物画の  
制作に取り組んでいます。また  
校内外のポスターの依頼を受け  
てペンタブレットによるCGデ  
ザインの制作も行っています。  
今後ともいい作品を発表できる  
ように、頑張りたいと思います。

### 演劇部

顧問 石田 由紀子  
井関 有紀子  
品川 実香



演劇部の練習風景

演劇部は現在、1、2年在中



心に14名で活動しております。普段の発声・滑舌の基礎強化練習は一年を通して取り組み、大会が近づくと本格的な劇づくりが始まります。生徒達は、脚本書きや手直し、脚本の読み込み、舞台装置の製作、舞台美術の製作、舞台稽古、劇の演出、役作り、音源の編集などを通し舞台の構成を最後まで練り上げていきます。また、それぞれが苦戦しながら自分の個性と能力を磨き、多くの工程を経て劇の完成へと向かいます。

生徒達には個性を認め合い、意見をぶつけ合い、互いの関わり方を学びながら、全員で大きな舞台を作成させる経験を通して、社会人としての資質向上を期待しているところです。9月には、秋のコンクールが開催されます。県大会、東北大会など

顧問 矢澤 敦  
滝沢 全

私達写真部は、現在15人で活動しています。具体的な内容としては、週2回例会と称して、各々が撮影した作品を提示して、評価をする活動をしています。今年、市内の他校写真部と協力して写真の研修会を開催したり、仙台市で開催された全国高文祭に参加して写真の見方・撮り方を学びました。

今後は高文連県写真展が11月16日(木)から19日(日)までの日程で須賀川市文化センター展示場で行われます。この写真展にむけて皆で作品創りに取り組んでいます。



## 写真部

貴重な経験の場を掴みとり更なる成長をすることを目標として日々活動し頑張っております。

顧問 高橋 温仁  
佐藤 良美  
星 明 宏

今年度も新たに12名の新入部員を迎え、現在22名で活動しています。地区・県の発表会を経

## 吹奏楽部



顧問 佐久間 智広  
村田 光 夫

昨年度、生徒会特別予算で無線機を購入しました。活動としては、この機器を活用した日々の通信活動を幅広く行いながら、各種のコンテストへ参加するべく技能の向上に努めています。現在、部員は2年生、1年生各1名という少人数の状況ですが、1年生も免許を取得し今後の活動に期待が持たれます。

## アマチュア無線部

人数は少なくなりましたが、なかなかまとまりのある集団です。定期演奏会の準備は4月から取り組まなくてはならない大変なものです。1人1人が自分の責任を全うし何とか成功させようという日々頑張っています。また、卒業生達が後輩のために

と演奏会を全力でサポートする環境は、他校の吹奏楽部にはない「タテのつながりの良さ」の証明です。同窓生のエネルギーは今も切れることなく脈々と後輩達へ受け継がれています。今後とも先輩方のご指導・ご支援をよろしくお願いします。

7月のコンクール支部大会8月の県大会へと進みました。他校と比べても楽器初心者が多い状況にありながら今年も難解な自由曲に取り組み、東北大会出場まで僅差の金賞(3位)で今年のコンクールを終えました。県代表の2校が楽々と全国大会に進出したことを思うと少し残念な気持ちもありますが、現在は次の大目標である定期演奏会に向けて部員一同練習に励んでいます。



この日は、部長の横山思美さんがアメリカから帰国したばかりなので、ホームステイでの体験などを聞いて楽しみました。

顧問 佐藤 良美  
大原 満

1年生4人、2年生4人、3年生6人、合計14人しか部員はいませんが、週一回集まって英会話の勉強をしています。他の部活動とも掛け持ちができます。授業と違って気楽におしゃべりをするような雰囲気です。

## 英会話部

と演奏会を全力でサポートする環境は、他校の吹奏楽部にはない「タテのつながりの良さ」の証明です。同窓生のエネルギーは今も切れることなく脈々と後輩達へ受け継がれています。今後とも先輩方のご指導・ご支援をよろしくお願いします。



さらには今年、校舎改築工事で機械科棟の和室が新しくなり、そこで茶道のお稽古ができるようになりました。専用の立派な茶室で、お茶をたてられるようになり、大変うれしく思っています。

これからも、お茶会や行事に向けて、さらに精進していこうと励んでいます。

## 茶道同好会

顧問 佐藤 みき

茶道同好会は、発足から5年目を迎えます。今年度は3年生6名・2年生3名・1年生3名の12名で活動してきました。毎年恒例の会津美里町で行われる「ふれあい茶会」では、学生茶席でお点前を披露し、新聞などでも紹介されました。また「あやめ祭り」にも参加し、地元の方々との交流も深めています。

# 部活動大会結果報告

## 〈陸上競技部〉

- 第63回福島県高等学校体育大会会津地区大会
  - 100m 1位 齋藤 凌(2M1)
  - 3位 皆川 綺羅(2E)
  - 5位 倉戸 恵吾(3M2)
  - 200m 2位 倉戸 恵吾(3M2)
  - 3位 皆川 綺羅(2E)
  - 5位 遠藤 優生(2I)
  - 800m 5位 遠藤 優生(2I)
  - 1500m 6位 木村 吉希(2C)
  - 1年3000m 4位 伊藤亜久里(1M2)
  - 110mH 1位 鈴木 淳平(2E)
  - 3000mSC 3位 二瓶 剛(2I)
  - 5000mW 6位 渡部 寛人(3A)
  - 4000mR 6位 千葉 彩斗(3E)
  - 1年4000m (村澤・皆川・倉戸・鈴木) 1位
  - (渡部・廣田・須田・千葉) 3位
  - 1600mR (皆川・鈴木・佐藤汰) 3位
  - 走り高跳 3位 鶴川 由夢(2M1)
  - 1位 穴澤 佑哉(2M1)
  - 棒高跳 2位 村澤 和真(3E)
  - 4位 村澤 和真(3E)
  - 三段跳 1位 小島小次郎(2E)
  - 砲丸投 6位 佐藤 宙夢(2M2)
  - 2位 小島小次郎(2E)
  - 円盤投 男子トラック 3位
  - 男子フィールド 1位
  - 女子総合 6位 室井 杏菜(2C)
  - 女子走り幅跳 4位 佐藤 良音(3C)
  - 女子砲丸投 3位
  - 男女総合 2位 齋藤 凌(2M1)
  - 100m 7位 皆川 綺羅(2E)
  - 100m 3位 小島小次郎(2E)
  - 砲丸投 3位
  - 400mR (佐藤宙・皆川・倉戸・鈴木) 3位
  - 1年4000m (渡部・廣田・須田・千葉) 3位
  - 3000mSC 7位 渡部 寛人(3I)
  - 棒高跳 8位 村澤 和真(3E)

## 〈バドミントン部〉

- 第63回福島県高等学校体育大会ハドミン トン競技 会津地区大会
  - 男子学校対抗戦 優勝
  - 男子シングルス 優勝 鈴鹿(2I)
  - 準優勝 本間(3M2)
  - 男子ダブルス 優勝 本間(3M2)・鈴鹿(2I)
  - 第63回福島県高等学校体育大会ハドミン トン競技
    - 男子学校対抗戦 優勝
    - 第54回福島県高等学校新人体育大会バド ミントン競技 会津地区大会
      - 男子学校対抗戦 優勝
      - 男子シングルス 優勝 鈴鹿(2I)
      - 準優勝 星(2I)
      - 男子ダブルス 準優勝 鈴鹿(2I)・星(2I)

## 〈卓球部〉

- 福島県高等学校体育大会卓球競技
  - 学校対抗 男子団体 3位
  - 男子ダブルス 安西一樹・渡部大地組(3年) 2位
  - 星冬斗・松川悟士組(2年) 3位
  - シングルス 安西一樹(3年) 3位
  - 下記4名ベスト16 渡部(3年)・松川・星・長谷川(2年)県大会へ
- 第63回福島県高等学校体育大会卓球競技 学校対抗
  - 男子ダブルス 安西・渡部組(3年) 2回戦 勝利、3回戦敗退
  - 星・松川組(2年) 2回戦敗退
  - 男子シングルス 安西・渡部(3年)・星・長谷川(2年)初戦敗退
  - 松川(2年) 2回戦勝利、3回戦敗退

## 〈野球部〉

- 第99回全国高等学校野球選手権大会福島県大会
  - 福島東高校に5対1で敗退
- 高田宮U-18サッカーリーグF2リーグ
  - 第1節 0-2(0-0, 0-2)
  - 第2節 1-2(1-1, 0-1)
  - 第3節 1-2(0-0, 1-2)

## 〈体操部〉

- 福島県高等学校体育大会会津地区大会体操 新体操個人総合 第2位 玉川望夢(3C)
- 新体操種目別
  - ロープ 2位 玉川望夢(3C)
  - クラブ 2位 玉川望夢(3C)
- 第63回福島県高等学校体育大会新体操競技 個人総合 第2位 玉川望夢(3C)
- 種目別
  - ロープ 1位 玉川望夢(3C)
  - クラブ 2位 玉川望夢(3C)
- 第67回全会津総合体育大会体操(新体操) 種目別
  - ロープ 1位 玉川望夢(3C)
  - クラブ 2位 玉川望夢(3C)
- 第46回東北高等学校新体操選手権大会 個人総合 第11位 玉川望夢(3C)
- 第70回福島県総合体育大会新体操競技 種目別
  - ロープ 1位 玉川望夢(3C)

## 〈水泳部〉

- 第63回福島県高等学校体育大会水泳競技 会津地区大会
  - 400mフリースタイル 3位
  - (鈴木啓太・小向佑典・納谷楓麻・天野世那) 3位
  - 400mメドレーリレー 3位
  - (鈴木啓太・小向佑典・納谷楓麻・天野世那) 3位
  - 50m自由形 2位 小向 佑典
  - 11位 湯田 剛司
  - 100m自由形 2位 鈴木 啓太
  - 3位 小向 佑典
  - 10位 納谷 楓麻
  - 1位 鈴木 啓太
  - 3位 納谷 楓麻
  - 50m平泳ぎ 1位 鶴巻 政紘
  - 5位 湯田 剛司
  - 100m平泳ぎ 7位 鶴巻 政紘
  - 8位 天野 世那
  - 3位 天野 世那
  - 200m平泳ぎ 3位 天野 世那
  - 第63回福島県高等学校体育大会水泳競技 会津地区大会(県)
    - 400mフリースタイル 4位 鈴木 啓太
    - (鈴木啓太・小向佑典・納谷楓麻・天野世那) 3位
    - 400mメドレーリレー 22位
    - (鈴木啓太・小向佑典・納谷楓麻・天野世那) 22位
    - 50m自由形 27位 小向 佑典
    - 56位 湯田 剛司
    - 10位 鈴木 啓太
    - 29位 小向 佑典
    - 44位 納谷 楓麻

## 〈バレーボール部〉

- 第67回全会津総合体育大会水泳競技
  - 200mフリースタイル 1位
  - (3年鈴木啓太、2年小向佑典、1年納谷楓麻・良田裕光)
  - 200mメドレーリレー 1位
  - 谷楓麻・良田裕光
  - 那 1年納谷楓麻
  - 50m自由形 1位 鈴木 啓太
  - 2位 小向 佑典
  - 100m自由形 2位 小向 佑典
  - 2位 良田 裕光
  - 50m平泳ぎ 2位 天野 世那
  - 2位 天野 世那
  - 100m平泳ぎ 2位 天野 世那
- 第63回全会津総合体育大会
  - 男子)
    - 第63回高体連・会津地区大会 第3位
    - 同 高体連・県大会 ベスト16
    - 第67回全会津総合体育大会 準優勝
    - 第70回福島県総合体育大会 初戦敗退
    - 第63回高体連・会津地区大会 予選敗退
    - 第67回全会津総合体育大会 予選敗退
  - 地区)
    - 予選 1位リーグ ○79対50ザベリオ
    - 65対105喜多方
    - 69対96若商
    - 67対75葵

## 〈バスケットボール部〉

- 第63回福島県高等学校体育大会バスケットボール競技 会津地区大会
  - 予選 4位
- 第63回福島県高等学校体育大会バスケットボール競技
  - 地区)
    - 予選 ○79対50ザベリオ
    - 65対105喜多方
    - 69対96若商
    - 67対75葵
  - 地区)
    - 予選 1位リーグ ○79対50ザベリオ
    - 65対105喜多方
    - 69対96若商
    - 67対75葵

## 〈硬式テニス部〉

- 第24回東北春季ジュニアテニス大会
  - U16男子シングルス 3位 池田 剛希(2M2)
  - 第13回全会津春季ジュニアテニス選手権大会
    - U18男子シングルス 3位 神村 龍飛(3M2)
- 第44回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会1次ラウンド
  - 1回戦 ●75対92トロッターズ
  - 第54回福島県選抜高等学校バスケットボール選手権会津地区大会
    - 地区)
      - 105対66田島
      - 60対96喜多方桐桜
      - 106対57赤北嶺
      - 69対63坂下
      - 67対85葵
    - 地区)
      - 105対66田島
      - 60対96喜多方桐桜
      - 106対57赤北嶺
      - 69対63坂下
      - 67対85葵

クラブガイド

# 部活動大会結果報告

## ●第63回福島県高等学校総合体育大会(一) スケート大会

スケーターズ大会  
 シングルズ 優勝 池田 剛希(2M2)  
 第6位 神村 龍飛(3M2)  
 ダブルス 優勝 池田 剛希(2M2)  
 神村 龍飛(3M2)  
 第3位 新井田 琉心(3A)  
 高木 拓実(3C)

## ●(スキューバ) 27年度全国高等学校選抜スキー大会

アルペン競技(女子)  
 大回転 第1戦 第3位  
 第2戦 第5位  
 小回転 第16位  
 アルペン女子個人総合 第3位  
 大嶋 柚(現3A)

## ●27年度国民体育大会夏季大会スキー競技会

アルペン種目(少年女子)  
 大回転 出場 大嶋 柚(現3A)  
 クロスカントリー種目(少年男子)  
 10km クラシカル・リレー 出場 鈴木 蓮(元3A)  
 阿部 直希(現2M1)  
 波多野寛大(現2E)

## ●27年度全国高等学校スキー大会

アルペン種目(少年女子)  
 大回転 出場 大嶋 柚(現3A)  
 クロスカントリー種目(少年男子)  
 10km クラシカル・リレー 出場 鈴木 蓮(元3A)  
 阿部 直希(現2M1)  
 波多野寛大(現2E)

## ●27年度県高等学校体育大会スキー大会

アルペン競技(女子)  
 大回転 優勝 大嶋 柚(現3A)  
 小回転 優勝 大嶋 柚(現3A)  
 クロスカントリー競技(男子)  
 10km フリー 優勝 鈴木 蓮(元3A)  
 第3位 阿部 直希(現2M1)  
 10km クラシカル 優勝 鈴木 蓮(元3A)

## ●27年度県総合体育大会スキー競技会

アルペン競技(女子)  
 大回転 第2位 大嶋 柚(現3A)  
 クロスカントリー競技(男子)  
 10km クラシカル 優勝 鈴木 蓮(元3A)  
 第2位 波多野寛大(現2E)

## ●27年度県高校新人スキー大会

アルペン競技(男子)  
 大回転 第2位 藤田 知幸(現2A)  
 クロスカントリー競技(男子)  
 10km 第2位 阿部 直希(現2M1)  
 第3位 波多野寛大(現2E)

## ●(空手部)

●第63回福島県高等学校体育大会・空手競技  
 団体組手 予選リーグ敗退  
 個人組手  
 2 回戦敗退 清水優斗(3A)  
 1 回戦敗退 本田裕士(2E)  
 1 回戦敗退 須佐拓哉(3I)  
 2 回戦敗退 須佐拓哉(3I)  
 3 回戦敗退 本田裕士(2E)  
 1 回戦敗退 須佐拓哉(3I)  
 2 回戦敗退 清水優斗(3A)  
 1 回戦敗退 宮森翔吾(2E)  
 1 回戦敗退 小椋倭人(2I)  
 1 回戦敗退 宗像真生(1A)

## ●(剣道部)

●全会津高等学校春季剣道大会  
 団体 トーナメント1回戦 会津学風に敗退  
 ●福島県高等学校体育大会剣道競技会津地区大会  
 予選リーグ 対葵高校 3勝2敗  
 予選リーグ 対会津高校 2勝3敗  
 4(6)位決定リーグ戦 対 喜多方高校 3勝2敗  
 対 喜多方高校 3勝2敗

## ●会津総合体育大会剣道競技

予選リーグ 予選リーグ敗退  
 予選リーグ 対会津学風 0勝5敗  
 予選リーグ 対葵高校 1勝1分け3敗

## ●(柔道部)

●第63回福島県高等学校体育大会柔道競技  
 会津地区予選  
 男子60kg級 3位 木村 翼(3M2)  
 男子81kg級 3位 仲島 晴海(2C)  
 男子90kg級 2位 五十嵐隆徳(3I)  
 女子57kg級 3位 穴澤 華那(2A)  
 男子団体 2位  
 ●第63回福島県高等学校体育大会柔道競技  
 男子60kg級 2 回戦敗退 木村 翼(3M2)  
 男子81kg級 1 回戦敗退 仲島 晴海(2C)  
 男子90kg級 2 回戦敗退 五十嵐隆徳(3I)  
 女子57kg級 1 回戦敗退 穴澤 華那(2A)

## ●(弓道部)

●第63回福島県高等学校体育大会弓道競技  
 会津地区大会  
 男子個人 第2位 山口 歩(3M1)  
 男子団体 第3位  
 ●第63回福島県高等学校体育大会弓道競技  
 男子個人 出場  
 ●第67回全会津総合体育大会弓道競技(高校の部)  
 近の男子団体 優勝  
 ●第70回福島県総合体育大会弓道競技(少年の部)  
 遠的男子団体 第6位  
 ●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 弓道競技会津地区大会  
 男子個人 第5位 山口 功誠(1M2)  
 第6位 佐藤 磨輝(2C)  
 第6位 佐藤 志誠(2I)  
 男子団体 第3位  
 ●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 弓道競技  
 男子個人 決勝進出 山口 功誠(1M2)  
 男子団体 ベスト12

## ●(ボクシング部)

●第63回福島県高等学校体育大会ボクシング競技  
 フライ級 1位 小池 凌雅(2I)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 横山 樹(2M2)  
 (東北大会II部出場)  
 1位 高橋 颯(2M1)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 齋藤 峻(2I)  
 (東北大会II部出場)

## ●(レスリング部)

●第63回福島県高等学校体育大会レスリング競技  
 フライ級 1位 小池 凌雅(2I)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 横山 樹(2M2)  
 (東北大会II部出場)  
 1位 高橋 颯(2M1)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 齋藤 峻(2I)  
 (東北大会II部出場)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 柔道競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●第63回福島県高等学校体育大会バレーボール競技  
 男子個人 第2位 山口 歩(3M1)  
 男子団体 第3位  
 ●第63回福島県高等学校体育大会バレーボール競技  
 男子個人 出場  
 ●第67回全会津総合体育大会バレーボール競技(高校の部)  
 近の男子団体 優勝  
 ●第70回福島県総合体育大会バレーボール競技(少年の部)  
 遠的男子団体 第6位  
 ●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技会津地区大会  
 男子個人 第5位 山口 功誠(1M2)  
 第6位 佐藤 磨輝(2C)  
 第6位 佐藤 志誠(2I)  
 男子団体 第3位  
 ●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子個人 決勝進出 山口 功誠(1M2)  
 男子団体 ベスト12

## ●(バレーボール部)

●第63回福島県高等学校体育大会バレーボール競技  
 フライ級 1位 小池 凌雅(2I)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 横山 樹(2M2)  
 (東北大会II部出場)  
 1位 高橋 颯(2M1)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 齋藤 峻(2I)  
 (東北大会II部出場)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●第63回福島県高等学校体育大会バレーボール競技  
 フライ級 1位 小池 凌雅(2I)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 横山 樹(2M2)  
 (東北大会II部出場)  
 1位 高橋 颯(2M1)  
 (東北大会1部・全国大会出場)  
 2位 齋藤 峻(2I)  
 (東北大会II部出場)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

## ●(バレーボール部)

●平成29年度福島県高等学校新人体育大会  
 バレーボール競技  
 男子81kg級 1位 仲島 晴海(2C)  
 男子100kg級 渡部 将大(1C)  
 女子57kg級 2位 穴澤 華那(2A)

クラブガイド

会工応援歌

頑張れ応援歌

- 一、鶏鳴三度地に鳴きて  
会陽の地の朝ぼらけ  
緋緘鎧ふ若武者が  
血潮高鳴る胸の鼓動
- 二、おお胸躍る白虎の血潮  
世々受け嗣ぎし会津魂  
金甌馬は芳草の  
野に嘶くと謳わずや
- 三、今混沌の末の世に  
重き使命はこれなりと  
浮薄の俗を払うべく  
鍛えし選手の腕見よ
- 四、淡き憂に暮近く  
紫紺の夕の鐘の音に  
唐紅の口を漏る  
歓喜のどよめきかまほし
- 五、春繚乱の花吹雪  
秋荒涼の夕間暮  
たゆまず歩みし足跡は  
今彼の地にて現われん

- 頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子  
栄ある健児よ 理想の盾をば振りかざし  
破邪の剣とりて起て 打てやこらせや  
我等が敵を  
勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ  
奮るえや 会工の健男児  
フレー フレー フレー
- 会工賛歌（創立百周年記念歌）**  
 作詞 会工高・100周年記念事業実行委員会  
 作曲 Wataru Hokoyama（鋒山 亘）
- 一、あおぐ磐梯 我らの母校  
いま黎明の 思い新たに  
さあ進もうよ 真理もとめて  
青春かがやけ 会工さわやかに
  - 二、数えきれぬ 出会いと別れ  
汗と涙と 友情はぐくみ  
さあ語ろうよ 明日をみつめて  
青春かがやけ 会工うつくしく
  - 三、挑むところ 無限に広く  
知恵を出し合い 技をみがいて  
さあ創ろうよ 夢をかたちに  
青春かがやけ 会工たくましく

2017職員人事

お世話になりました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>山内 秀治 教 頭 退 職</li> <li>伊藤 順子 教 諭 退 職</li> <li>熊田 志郎 実習教諭 退 職</li> <li>神田 美香 教 諭 埼玉工業高等学校</li> <li>鈴木 秀希 教 諭 相馬高等学校</li> <li>江本 城幸 教 諭 会津第二高等学校</li> <li>吉田 桂一 教 諭 白河実業高等学校</li> <li>岩淵 浩之 実習教諭 喜多方桐桜高等学校</li> <li>近内 尚子 主任主査 会津若松建設事務所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山野 敏 (再任教諭 工業(セラミック化学))</li> <li>湯田ときえ (常勤講師 国語)</li> <li>小林 毅之 (常勤講師 地歴(公民))</li> <li>齋藤 大和 (常勤講師 数学)</li> <li>菊地 壽雄 (常勤講師 工業(電気))</li> <li>小川 拓也 (常勤講師 工業(電気))</li> <li>菊地 大志 (時間講師 保健体育)</li> <li>山本 義文 (再任実助 工業(情報技術))</li> <li>武田 厚彦 (期付実助 理科)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五ノ井平吉 教 頭 田島高等学校</li> <li>井関有紀子 教 諭 郡山東高等学校</li> <li>日出山亜希子 教 諭 船引高等学校</li> <li>加藤 善範 教 諭 田島高等学校</li> <li>猪股 俊伸 教 諭 南会津高等学校</li> <li>大原 満 教 諭 葵高等学校</li> <li>武田 秀幸 教 諭 新採用(本松工業高等学校)</li> <li>菊地 孝夫 常勤講師 坂下高校</li> <li>利根川真美香 実習助手 新採用(小高工業高等学校)</li> <li>佐藤 伸哉 期付実助 郡山北工業高等学校</li> <li>木村有希子 時間講師</li> <li>佐竹 勝行 時間講師</li> <li>結城 節子 主任主査 会津地方振興局</li> <li>矢内 吉美 専門員 会津教育事務所</li> <li>菅野 柳子 臨時事務補助員</li> </ul>
--	---	--





# 各支部役員名

(平成29年9月現在)

地区	役職	名前	卒業年	地区	役職	名前	卒業年	地区	役職	名前	卒業年
東京	顧問 顧問	室井忠六	S24T	若松	幹事 顧問	沼生	S29E	建友会	顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問	青山	S29E
		黒風池	S23T			武誠	S45A			昭源	S28A
		五小	S24T			佐子	S46E			山田	S38A
		小	S34T			美正	S50C			山田	S39A
		小	S21L			登貴	S51A			山田	S40A
		小	S25C			千子	S52M			山田	S45A
		小	S29C			惠子	H06D			山田	S43A
		小	S27M			義子	H12M			山田	S51A
		小	S26E			義昭	S30E			山田	S55A
		小	S32E			義昭	S35T			山田	S54A
		小	S32A			久寛	S18T			山田	H08A
		小	S35A			嘉典	S21M			山田	S48A
		小	S42E			典幸	S30M			山田	H05A
		小	S36E			典幸	S32T			山田	S27E
		小	S38M			典幸	S38C			山田	S29E
		小	S40M			典幸	S58D			山田	S30E
		小	S34T			典幸	S29K			山田	S36E
		小	S35L			典幸	S25C			山田	S37E
		小	S46M			典幸	S38T			山田	S31E
		小	S41G			典幸	S38C			山田	S40E
小	S40M	典幸	S42D	山田	S34E						
小	S43E	典幸	S24M	山田	S35E						
小	S34K	典幸	S18M	山田	S36E						
小	S41T	典幸	S27E	山田	S40E						
小	S33K	典幸	S39E	山田	S47E						
小	S36K	典幸	S40E	山田	S43E						
小	S37K	典幸	S31M	山田	S35E						
小	S39K	典幸	S27E	山田	S40E						
小	S44K	典幸	S34C	山田	S43E						
小	S31C	典幸	H2M	山田	S32M						
小	S40A	典幸	S24L	山田	S41M						
小	S40A	典幸	S26E	山田	S42M						
小	S46A	典幸	S27C	山田	S55M						
小	S35C	典幸	S43A	山田	S58M						
小	S37C	典幸	S41K	山田	S52M						
東海	相談 相談	佐中瀬一	S26E	坂下	顧問 顧問	利正	S24L	機友会	顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問	和	S32M
		伊辰力	S30E			一	S26E			義	S41M
		辰力	S31A			順	S27C			優	S42M
		辰力	S31T			一	S43A			幸	S55M
		辰力	S31T			夫	S41K			登	S58M
		辰力	S36E			夫	S42C			恒	S52M
		辰力	S35A			夫	S29A			恒	S33M
		辰力	S33K			夫	S32K			恒	S32M
		辰力	S41A			夫	S35A			恒	S45F
		辰力	S41G			夫	S45C			恒	S47M
		辰力	S35T			夫	S47D			恒	S47M
		辰力	S36T			夫	S49A			恒	S43M
		辰力	S37A			夫	S44A			恒	S55M
		辰力	S46A			夫	S44A			恒	S32K
		辰力	S44M			夫	S48A			恒	S34K
		辰力	S56M			夫	S52M			恒	S32K
		辰力	S58A			夫	S59A			恒	S20K
		辰力	S48M			夫	H08D			恒	S21K
		辰力	S42E			夫	H11A			恒	S29K
		辰力	S45M			夫	H16M			恒	S29K
辰力	S30K	夫	H06E	恒	S32K						
辰力	S31T	夫	H14F	恒	S33K						
辰力	S41M	夫	S60A	恒	S32K						
辰力	S43T	夫	S52C	恒	S33K						
辰力	S30C	夫	S50K	恒	S33K						
辰力	S43T	夫	S52T	恒	S35K						
辰力	S41K	夫	S36E	恒	S34K						
辰力	S30C	夫	S37A	恒	S34K						
辰力	S30C	夫	S31L	恒	S39K						
辰力	S35T	夫	S37T	恒	S50K						
辰力	S31K	夫	S49G	恒	S41K						
辰力	S32T	夫	S52A	恒	S43K						
辰力	S31E	夫	S40E	恒	S49K						
辰力	S31C	夫	S49A	恒	S39K						
辰力	S39E	夫	S49G	恒	S41K						
辰力	S37T	夫	S48M	恒	S41K						
辰力	H13E	夫	S48M	恒	S48K						
辰力	S35K	夫	S48M	恒	S48K						
辰力	S31T	夫	S13T	恒	S48K						
辰力	S34M	夫	S29C	恒	S52K						
辰力	S23T	夫	S31E	恒	H05K						
辰力	H16M	夫	S31E	恒	H07F						
辰力	S32K	夫	S41M	恒	H16F						
辰力	S38K	夫	S26M	恒	S50K						
辰力	S40E	夫	S20K	恒	S58K						
辰力	S43E	夫	S30K	恒	S41K						
辰力	S32K	夫	S45D	恒	S41K						
辰力	S37E	夫	S39K	恒	S48K						
辰力	S38A	夫	S39K	恒	S58K						
辰力	S34E	夫	S49A	恒	S41K						
辰力	S41M	夫	S50E	恒	S48K						
辰力	S36L	夫	S40G	恒	S41K						
辰力	S34E	夫	S31A	恒	S48K						
辰力	S51A	夫	S48K	恒	S58K						
辰力	S28A	夫	S28E	恒	S41K						
辰力	S33K	夫	S28A	恒	S48K						
辰力	S36A	夫	S32E	恒	S55K						
辰力	S37K	夫	S39A	恒	S55K						
辰力	S43M	夫	S34A	恒	S55K						
辰力	S40E	夫	S37M	恒	S55K						
辰力	S55M	夫	S45A	恒	S55K						
辰力	S58A	夫	S48A	恒	S55K						
辰力	S58A	夫	S37M	恒	S55K						
近畿	顧問 顧問	渡大石	S31E	湯川	顧問 顧問	瑞生	S13T	日立会工	顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問	高橋	S26M
		眞文善君	S31C			瑞生	S29C			橋	S51M
		眞文善君	S39E			瑞生	S31E			塚	H03C
		眞文善君	S37T			瑞生	S31E			口	S46E
		眞文善君	H13E			瑞生	S41M			山	S59C
		眞文善君	S35K			瑞生	S26M			長	S59C
		眞文善君	S31T			瑞生	S20K			珊	S56M
		眞文善君	S34M			瑞生	S30K			瑚	S55E
		眞文善君	S23T			瑞生	S45D			高	H16E
		眞文善君	H16M			瑞生	S39K			橋	S51M
		眞文善君	S32K			瑞生	S39K			口	S51M
		眞文善君	S43E			瑞生	S49A			山	S51M
		眞文善君	S32K			瑞生	S50E			長	S51M
		眞文善君	S37E			瑞生	S40G			珊	S51M
		眞文善君	S38A			瑞生	S31A			瑚	S51M
		眞文善君	S34E			瑞生	S48K			高	S51M
		眞文善君	S41M			瑞生	S28E			橋	S51M
		眞文善君	S36L			瑞生	S28A			口	S51M
		眞文善君	S34E			瑞生	S32E			山	S51M
		眞文善君	S51A			瑞生	S39A			長	S51M
眞文善君	S28A	瑞生	S34A	珊	S51M						
眞文善君	S33K	瑞生	S37M	瑚	S51M						
眞文善君	S36A	瑞生	S45A	高	S51M						
眞文善君	S37K	瑞生	S48A	橋	S51M						
眞文善君	S42M	瑞生	S37M	口	S51M						
眞文善君	S43M	瑞生	S45A	山	S51M						
眞文善君	S40E	瑞生	S48A	長	S51M						
眞文善君	S55M	瑞生	S36M	珊	S51M						
眞文善君	S58A	瑞生	S37M	瑚	S51M						
若松	顧問 顧問	坂内	S32K	いわき	顧問 顧問	大上	S28E	昭和金	顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問 顧問	高橋	S26M
		狭田	S38K			原野	S28A			橋	S51M
		田部	S40E			野宮	S32E			口	H03C
		部	S43E			宮沢	S39A			山	S46E
		部	S32K			沢木	S34A			長	S59C
		部	S37E			木野	S37M			珊	S56M
		部	S38A			野中	S45A			瑚	S55E
		部	S41M			野平	S48A			高	H16E
		部	S36L			平兼	S37M			橋	S51M
		部	S34E			兼木	S45A			口	S51M
		部	S51A			木村	S48A			山	S51M
		部	S28A			村野	S36M			長	S51M
		部	S33K			野宮	S37M			珊	S51M
		部	S36A			宮沢	S45A			瑚	S51M
		部	S37K			沢木	S48A			高	S51M
		部	S42M			木野	S37M			橋	S51M
		部	S43M			野中	S45A			口	S51M
		部	S40E			平兼	S48A			山	S51M
		部	S55M			兼木	S36M			長	S51M
		部	S58A			木村	S37M			珊	S51M

●西会津支部 平成26年7月解散  
●美修会 平成29年4月解散

## 会工同窓会本部役員

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出 松江春次顕彰会会長
会長	藤田晴史	S40E	本部選出
筆頭副会長	浅田 誠	S43E	本部選出 若松会工委会長 参与
副会長	田中健一	S42E	東京会工委会長 参与
〃	白井武男	S45A	建友会会長 参与
幹事長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤義之	S42M	本部選出
〃	荒川富士雄	S43M	本部選出 会報編集委員長
〃	菊地壽雄	S48D	本部選出
〃	荒井誠一	S49A	本部選出
幹事	江花光泰	S31L	本部選出 会報編集委員
〃	渡部昭寿	S34E	本部選出 会報編集委員
〃	安藤昭男	S35T	本部選出
〃	近藤信行	S40E	本部選出
〃	長谷川利彦	S41K	本部選出
〃	武田芳仁	S47M	本部選出
〃	野中寿勝	S50E	本部選出
〃	長尾好章	S50T	本部選出
〃	菅原正晴	S51A	本部選出
〃	岩渕浩之	S54L	本部選出
〃	森田哲郎	S55M	本部選出
〃	渡部優生	S55M	本部選出
〃	佐藤 満	S56A	本部選出
〃	村澤 智	S62E	本部選出
〃	渡部恵千子	H06D	本部選出
〃	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
〃	田勢光夫	S51A	本部選出 会報編集委員
〃	古川春樹	S41G	東海会工会事務局長 (副会長兼任)
〃	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
〃	藤沼嘉典	S32T	郡山会工会幹事長
〃	梅宮 昭	S39A	いわき会工会幹事長
〃	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
〃	武藤 寛	S45C	坂下会工会幹事長
〃	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会幹事長
〃	小島淳一	S41E	西会津会工会幹事長
〃	佐野常雄	S31E	湯川会工会幹事長・監事
〃	白井達夫	S43E	電友会事務局長
〃	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
〃	梨子本 傑	S41K	セラ友会幹事長
〃	五十嵐慧夫	S26M	日立会工委会長
〃	高橋 誠	S56M	三菱伸銅(株)鶴友会会長

役職名	氏名	卒年	備考
〃	大塚裕一郎	H3C	昭和電工(株)会工委会長
幹事	高橋伸幸	S51M	日曹金属化学(株)会工委会長
〃	珊瑚優治	S59C	三菱製鋼(株)会工委会長
〃	徳永正浩	S55E	東京電力パワーグリッド会工委会長
会計	菅家慶広	S56A	事務局
〃	中丸 淳	S55K	事務局
監事	佐野常雄	S31E	会工電友会会長・湯川会工会幹事長
〃	小山源昭	S38A	建友会前会長
〃	栗城和夫	S41M	機友会会長
参与	横山嘉夫	S26M	会津美里会工会前会長
〃	田中健一	S42E	東京会工委会長
〃	三井正春	S41A	東海会工委会長
〃	石川善一	S39E	近畿会工委会長
〃	大竹文夫	S31C	前近畿会工委会長
〃	金田 寛	S21M	郡山会工委会長
〃	二瓶嘉人	S39E	福島会工委会長
〃	星 武	S27E	福島会工会前会長
〃	大川原昌之	S28E	いわき会工委会長
〃	梨子本 傑	S41K	坂下会工委会長
〃	五十嵐一夫	S43A	坂下会工会前会長
〃	山口一男	S37A	猪苗代会工委会長
〃	菅沼章生	S29C	湯川会工委会長
〃	栗木俊昭	S45D	会津美里会工委会長
〃	白井武男	S45A	建友会会長
〃	佐野常雄	S31E	会工電友会会長・監事
〃	栗城和夫	S41M	機友会会長・監事
〃	二瓶正人	S37K	セラ友会会長
〃	渡部洋子	S32K	セラ友会前会長
〃	曾根賢治	S36L	会工美修会前会長
〃	大堀順一	S27C	
〃	坂内茂男	S32K	前監事
〃	関場一宏	S33K	前監事
事務局長	渡部 哲	S52M	
副事務局長	中丸 淳	S55K	
事務局	大濱達明	S55K	会報編集委員
〃	加藤義勝	S56L	会報編集委員
〃	菅家慶広	S56A	
〃	山野 敏	S49G	会報編集委員
〃	真田郁夫	S57E	
〃	小林毅之	H13M	



**次回第111回総会は  
平成30年10月20日(土)に開催しますので、  
是非ご参加ください！**



同窓会会報編集委員

同窓会会報編集委員  
荒川富士雄

**編集後記**

東日本大震災より6年が過ぎましたが、復興の兆しは見えつつも未だ完全復興には至らないうえに、風評被害が残っているのも現実です。母校は、耐震工事がすべて完了し、子供たちが安心して学べる環境が整いました。同窓会も新会長の下でスタートしました。会報が今回も皆様の協力で発行出来ましたことを感謝申し上げますと共に、今後も御協力をお願いいたします。